

令和7年度

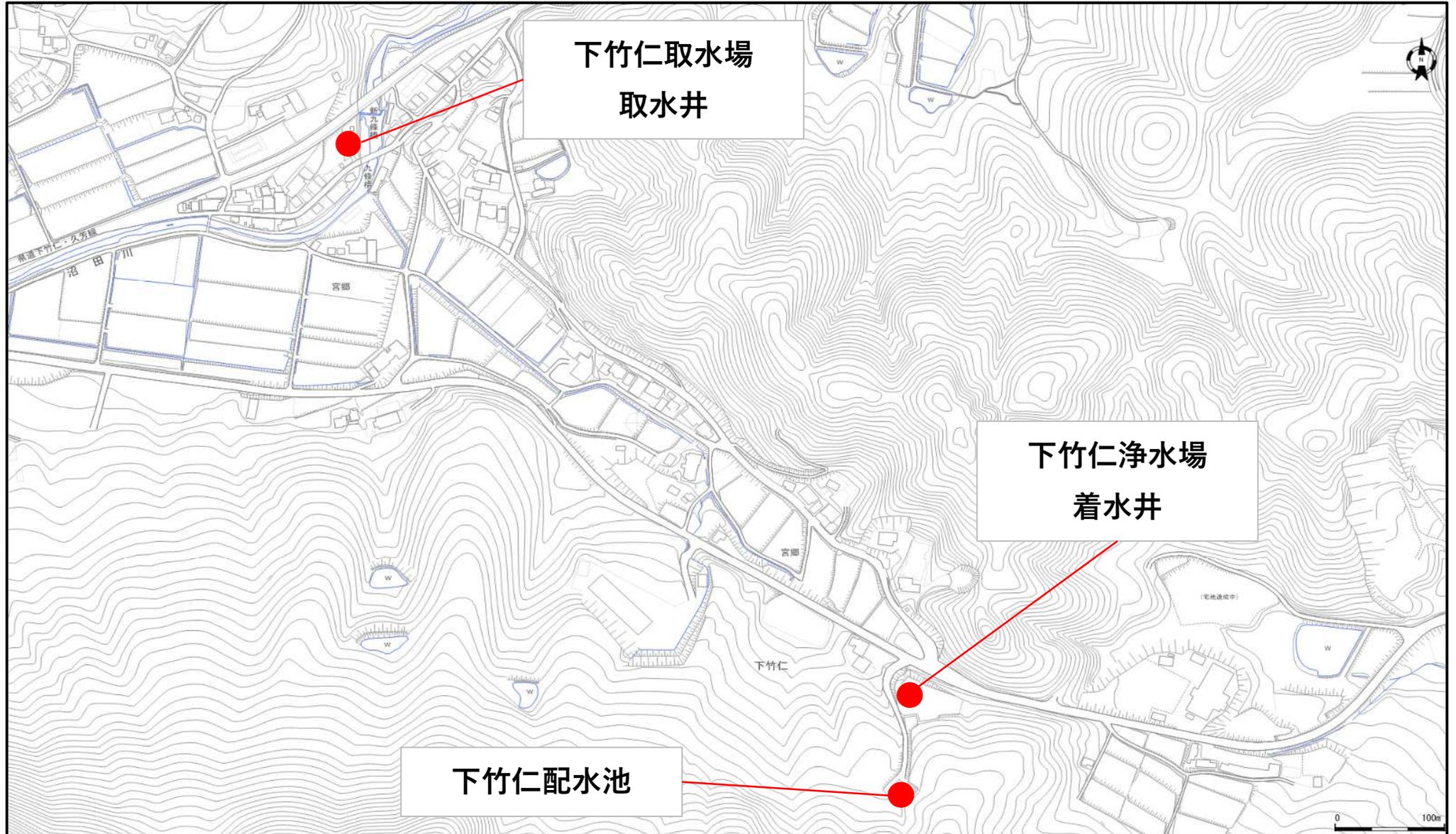
施設更新(耐震化)事業

下竹仁配水池ほか耐震診断・補強設計業務(その2)

仕様書

業務場所 東広島市福富町下竹仁

下竹仁配水池ほか耐震診断・補強設計業務（その2） 位置図



(別記様式1)

特記事項（管理技術者及び照査技術者の選任）

この業務については、次のとおり管理技術者及び照査技術者を定めることが必要である。

業務名	令和7年度 施設更新（耐震化）事業 下竹仁配水池ほか耐震診断・補強設計業務（その2）	
委託業務場所	東広島市福富町下竹仁	
○印がある部分の技術者が必要である。 なお当該技術者は、別に定めのない限り、配置時点で直接的かつ恒常的な雇用関係（所属する会社との間に第三者の介入する余地の無い雇用に関する一定の権利義務関係が開札日前（随意契約にあつては見積書提出日前）までに連続して3か月以上存在すること）にある者とする。		
業務の種類	管理技術者	照査技術者
設計業務	○ (技術士又はRCCM) 設計業務の種類 <u>上水道</u> 及び <u>工業用水道</u>	○ (技術士) 設計業務の種類 <u>上水道</u> 及び <u>工業用水道</u>
	() (資格は問わない)	() (資格は問わない)
測量業務	() (資格要件は別表参照)	() (資格要件は別表参照)
地質及び土質調査業務	() (資格要件は別表参照)	() (資格要件は別表参照)
用地調査等業務	() (資格要件は別表参照)	() (資格要件は別表参照)
建築設計等業務	() (資格要件は別表参照)	() (資格要件は別表参照)
管理（照査）技術者の履行期間途中での交代は、管理（照査）技術者の死亡、傷病または退職等、真にやむを得ない場合を除き原則認めない。その場合であっても、交代前後における管理（照査）技術者の技術力が同等以上に確保されなければならない。		

(注) 必要とする技術者の欄に、○を付して使用のこと。

(別表)

委託業務	管理技術者及び照査技術者の資格要件			
設計業務	(1) 技術士又はシビルコンサルタントマネージャー(RCCM)の資格保有者			
	設計業務の種類	技 術 士	R C C M	添付書類
	河川・砂防 及び海岸・海洋	技術士法（昭和58年法律 第25号）第4条に定める 技術部門のうち「建設部門」 に該当する資格	左記「設 計業務の 種類」ご とのRCCM の資格	技術士登 録等証明 書又は RCCMの資 格証の写 し（コピ ー可）
	港湾及び空港			
	電力土木			
	道 路			
	鉄 道			
	造 園			
	都市計画及び 地方計画			
	土質及び基礎			
	鋼構造及び コンクリート			
	トンネル			
	施工計画・施工 設備及び積算			
	建設環境			
	上水道及び 工業用水道	上記法に定める技術部門 「上下水道部門」に該当す る資格		
	下 水 道			
	農業土木	上記法に定める技術部門 「農業部門」に該当する資 格		
	森林土木	上記法に定める技術部門 「森林部門」に該当する資 格		
水産土木	上記法に定める技術部門 「水産部門」に該当する資 格			
廃棄物	上記法に定める技術部門 「衛生工学部門」に該当す る資格			
地質	上記法に定める技術部門 「応用理学部門」に該当す る資格			
機械	上記法に定める技術部門 「機械部門」に該当する資 格			

	<p>電気電子</p> <p>上記法に定める技術部門「電気電子部門」に該当する資格</p>		
	<p>(2) (1) と同等の能力と経験を有する技術者 (同上。この場合は、業務の種類を問わず以下の要件を満たせばよい。)</p> <p>【添付書類】 実務経験書</p> <p>ただし、実務経験に、「上水道及び工業用水道」にかかる設計業務の経験を含むこととする (年数は問わない)。</p> <p>① 学校教育法 (昭和 22 年法律第 26 号) による大学 (旧大学令による大学を含む。) 又は高等専門学校 (旧専門学校令による専門学校を含む。)</p> <p>の土木工学又は同等の工学に関する科目 (橋梁工学、土質工学、河川工学、海岸工学、構造力学、材料工学、水理学、道路・鉄道工学、コンクリート工学、都市計画及び地方計画、その他農業土木、森林土木に関する学科を含む。以下同じ。) を習得し、建設コンサルタント等業務 (建設事業の計画・調査・立案・助言及び建設工事の設計・管理業務に従事又はこれを監理することをいう。以下同じ。) に 20 年以上の実務経験を有する者</p> <p>② 学校教育法による高等学校の土木工学又は同等の工学に関する科目を習得し、建設コンサルタント等業務に 22 年以上の実務経験を有する者</p> <p>③ その他の者にあつては、建設コンサルタント等業務に 25 年以上の実務経験を有する者</p>		
<p>測量業務</p>	<p>『測量業務共通仕様書 (広島県)』第 108 条に規定する「管理技術者」又は「土地家屋調査士」であり、高度な技術と十分な実務経験を有する者が管理技術者の資格要件となる。</p> <p>・・・・・・・・・・資格証の写しを添付</p>		
<p>地質及び土質調査業務</p>	<p>『地質・土質調査共通仕様書 (広島県)』第 102 条に規定する「管理技術者」とし、業務の履行にあたり、技術上の管理を行うに必要な能力と経験を有する者。</p>		
<p>用地調査等業務</p>	<p>『用地調査等共通仕様書 (広島県)』第 2 条 (5) に規定する「主任担当者」 (資格要件は次のいずれかに該当する者)</p> <p>(1) 主たる補償業務 (補償コンサルタント登録規程第 2 条に規定する登録部門、(土地調査、土地評価、物件、機械工作物、営業補償・特殊補償、事業損失、補償関連、総合補償) のいずれかに係る補償業務。以下同じ。) に関し 7 年以上の実務経験を有する者</p> <p>……………実務経歴書を添付</p> <p>(2) 主たる補償業務に関する補償業務管理士 (社団法人日本補償コンサルタント協会の補償業務管理士研修及び検定試験実施規程第 14 条の規定による補償業務管理士登録台帳に登録されている者をいう。)</p> <p>……………登録証の写しを添付</p>		

	<p>(3) 補償コンサルタント登録規程第3条第1号に規定する補償業務の管理をつかさどる専任の者（補償業務管理者） ……………登録に当たり交付される補償コンサルタント登録済を証する書面の写し（登録部門に係る補償業務管理者の氏名が記載されたもの）を添付</p> <p>(4) 補償業務全般に関する指導監督的実務の経験3年以上を含む20年以上の実務の経験を有する者 ……………実務経歴書を添付</p>
<p>建築設計 等 業 務</p>	<p>『建築設計業務委託共通仕様書（公共建築協会）に規定する「管理技術者」とする。したがって、管理技術者は、特記仕様に記載した「一級又は二級建築士」で高度な技術と十分な経験を有するものが、管理技術者の資格要件となる。</p> <p>……………資格証の写しを添付</p>

特記仕様書

本業務は、令和7年1月に策定された、上下水道耐震化計画における、急所施設である下竹仁配水池等の耐震性を確認するため耐震二次診断を実施する。また、下竹仁配水池において耐震性能が不足する場合は、効果的且つ効率的な耐震補強等の対策を計画・立案し、耐震補強工事に必要な実施設計を行うものとする。

本業務の実施に当たっては、広島県制定「設計業務等共通仕様書（令和7年8月）」、「地質・土質調査業務共通仕様書（令和7年8月）」、及び日本水道協会制定「水道施設設計業務委託標準仕様書」、及び広島県水道広域連合企業団東広島事務所制定「下竹仁配水池ほか耐震診断・補強設計業務 特記仕様書」に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

1. 「広島県」とあるのは「広島県水道広域連合企業団東広島事務所」と読み替えるものとする。（ただし、「設計業務等共通仕様書」第1編第1章第1119条、第1150条、第1編第2章第1209条第12項、「測量業務共通仕様書」第1章第105条、第120条、第156条、「地質・土質調査業務共通仕様書」第1章第120条及び第153条においては読み替えないものとする。）
2. 「契約規則第2条第1項」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替えるものとする。
3. 「契約約款6条」とあるのは「東広島市業務委託契約約款（以下「市契約約款」という。）第5条」、「契約約款7条」とあるのは「市契約約款第6条」、「契約約款8条」とあるのは「市契約約款第7条」、「契約約款9条」とあるのは「市契約約款第8条」、「契約約款10条」とあるのは「市契約約款第9条」、「契約約款11条」とあるのは「市契約約款第10条」、「契約約款12条」とあるのは「市契約約款第11条」、「契約約款13条」とあるのは「市契約約款第12条」、「契約約款15条」とあるのは「市契約約款第14条」、「契約約款18条」とあるのは「市契約約款第17条」、「契約約款19条」とあるのは「市契約約款第18条」、「契約約款20条」とあるのは「市契約約款第19条」、「契約約款21条」とあるのは「市契約約款第20条」、「契約約款22条」とあるのは「市契約約款第21条」、「契約約款23条」とあるのは「市契約約款第22条」、「契約約款27条」とあるのは「市契約約款第26条」、「契約約款28条」とあるのは「市契約約款第27条」、「契約約款29条」とあるのは「市契約約款第28条」、「契約約款30条」とあるのは「市契約約款第29条」、「契約約款31条」とあるのは「市契約約款第30条」、「契約約款33条」とあるのは「市契約約款第32条」、「契約約款40条」とあるのは「市契約約款第39条」と読み替えるものとする。

4. その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
—	—	—	—	前払金		<p>契約金額が 50 万円以上の委託業務の場合は前払金を請求することができる。</p> <p>前払金は契約金額の 30%以内とする。</p> <p>その他、前金払の適用は、次の要領による。</p> <p>業務委託代金前金払実施要領</p>
—	—	—	—	目的物		<p>納入目的物は次のとおりとし、その権利は全て広島県水道広域連合企業団東広島事務所の所有とする。提出部数は 2 部とし、調査職員が必要とするものは電子データで 1 部提出するものとする。</p> <p>【業務対象水道施設】</p> <p>① 下竹仁配水池 耐震診断・補強実施設計業務 1 式</p> <p>② 下竹仁取水場 取水井 耐震診断業務 1 式</p> <p>③ 下竹仁浄水場 着水井 耐震診断業務 1 式</p> <p>1) 耐震補強図・劣化補修図（実施設計図） 1 式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置図 1/10,000 以下 ・配置図 1/500～1/200 ・平面図 1/200～1/100 ・立面図 1/200～1/100 ・断面図 1/200～1/100 ・構造図 1/200～1/100 ・詳細図 1/100～1/10 ・施工図・仮設図 作成図面の縮尺とする。 ・積算参考図 作成図面の縮尺とする。 <p>※耐震診断により耐震性能が確保されていると判断された場合、もしくは、地質調査の結果により実質的な補強工事等が見込めない場合には、耐震補強実施設計は不要とし請負代金額の減額対象とする。</p> <p>2) 構造計算書、安定計算書及び比較検討書 1 式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構造計算書 <p>※水道施設や地盤の耐震診断にかかる構造計算等については、条件及び諸元を明確にして、計算処理のフローを提示すること。電算機使用の場合は、機種、プログラムソフト名等の使用解析ソフト、採用数値の根拠、算定式等の根拠文献（引用元）を分かりやすく詳細に記載したアウトプット等を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定計算書 ・比較検討書 <p>※耐震診断により耐震性能が確保されていると判断された場合、もしくは、地質調査の結果により実質的な補強工事等が見込めない場合には、耐震補強設計に伴う安定計算、比較検討書は不要とし請負代金額の減額対象とする。</p> <p>3) 各種調査報告書 1 式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査報告書 ・地質調査報告書 ・劣化調査報告書

						<p>4) 数量計算書 1式 ※耐震診断により耐震性能が確保されていると判断された場合、もしくは、地質調査の結果により実質的な補強工事等が見込めない場合には、耐震補強設計に伴う数量計算書は不要とし請負代金額の減額対象とする。</p> <p>5) 打合せ記録簿（写し） 1式</p>
設計業務等共通仕様書						
1	1	1	1101	適用	1	「広島県土木建築局」とあるのは「広島県水道広域連合企業団東広島事務所」と読み替えるものとする。
1	1	1	1112	業務計画書	2 修正	<p>業務計画書には、契約図書に基づき次の事項を記載するものとする。</p> <p>(1) 業務概要 (2) 実施方針 (3) 業務工程 (4) 業務組織計画 (5) 打合せ計画 (6) 成果物の品質を確保するための計画 (7) 成果物の内容、部数 (8) 使用する主な図書及び基準 (9) 連絡体制（緊急時含む） (10) 使用する主な機器、使用機械の種類、名称、性能（一覧表にする） (11) その他</p> <p>※（2）実施方針又は（11）その他には、第 1131 条 個人情報の取扱い、第 1132 条 安全等の確保及び第 1137 条 行政情報流出防止対策の強化に関する事項も含めるものとする。なお、（6）に照査計画について記載するものとし、その照査項目のリストを添付するものとする。</p> <p>※地質調査業務に関する詳細な作業計画については、地質・土質調査業務共通仕様書に基づき、別途、提出するものとする。</p> <p>※劣化調査について、作業計画書を別途、提出するものとする。</p> <p>なお、業務計画書及び作業計画書が受理された後に着手するものとする。</p>
1	1	1	1117	成果物の提出	4 修正	受注者は成果物の提出について調査職員の指示によるものとする。
1	1	1	1136	低入札価格調査制度		適用しない。
1	1	2	1146	業務成績評定		適用しない。
1	1	2	1147	情報共有システム		適用しない。
1	1	2	1148	総合評価落札方式		適用しない。

—	—	—	—	内容		<p>【業務対象水道施設】</p> <p>① 下竹仁配水池 RC造 V=700m³</p> <p>② 下竹仁取水場 取水井 RC造 V=90m³</p> <p>③ 下竹仁浄水場 着水井 RC造 N=1箇所</p> <p>【耐震条件整理】①②③</p> <p>既存資料収集・整理</p> <p>地盤検討</p> <p>耐震基本方針及び設計地震動設定</p> <p>【耐震診断評価】①②③</p> <p>解析モデル作成</p> <p>耐震診断</p> <p>耐震性能の照査</p> <p>総合評価</p> <p>【対策案の検討】①のみ</p> <p>補強対策検討</p> <p>劣化対策検討</p> <p>対策後の構造解析</p> <p>施工検討</p> <p>対策案の概算工事費作成</p> <p>【補強補修実施設計】①のみ</p> <p>設計図作成（耐震補強・劣化補修）</p> <p>※耐震診断により耐震性能が確保されていると判断された場合、もしくは、地質調査の結果により実質的な補強工事等が見込めない場合には、対策案の検討及び補強補修実施設計は、不要とし請負代金額の減額対象とする。</p>
---	---	---	---	----	--	---

地質・土質調査業務共通仕様書

		1	101	適用	1	「広島県土木建築局」とあるのは「広島県水道広域連合企業団東広島事務所」と読み替えるものとする。
	1	1	113	業務計画書	2 修正	<p>地質調査及び劣化調査に伴う業務計画書（地質調査・劣化調査計画書）には、契約図書に基づき次の事項を記載するものとする。</p> <p>(1) 業務概要</p> <p>(2) 実施方針</p> <p>(3) 業務工程</p> <p>(4) 業務組織計画</p> <p>(5) 打合せ計画</p> <p>(6) 成果品の内容、部数</p> <p>(7) 使用する主な図書及び基準</p> <p>(8) 連絡体制（緊急時含む）</p> <p>(9) 使用機械の種類、名称、性能（一覧表にする）</p> <p>(10) 仮設備計画</p> <p>(11) その他</p> <p>※（2）実施方針又は（11）その他には、第1131条 個人情報の取扱い、第1132条 安全等の確保及び第1137条 行政情報流出防止対策の強化に関する事項も含めるものとする。</p>
	1	1	118	成果物の提出	4 修正	受注者は成果物の提出について調査職員の指示によるものとする。
	1	1	137	低入札価格調査制度		適用しない。
	1	2	147	成果物の提出	1(2) から2 まで	適用しない。

	1	2	149	業務成績評定		適用しない。
	1	2	150	情報共有システム		適用しない。
	1	2	151	総合評価落札方式		適用しない。
—	—	—	—	調査内容	1	<p>【地質調査】 各施設の地盤状況（支持地盤）を把握するため、ボーリング調査及び標準貫入試験を実施する。 調査内容として、以下を見込んでいる。</p> <p>① 下竹仁配水池（φ66mmボーリングオールコア） ・土質ボーリング（礫混じり土砂） L=14m/2箇所 ・岩盤ボーリング（軟岩） L=6m/2箇所 ・標準貫入試験（礫混じり土砂） N=14回/2箇所 ・標準貫入試験（軟岩） N=6回/2箇所</p> <p>② 下竹仁取水場 取水井（φ66mmボーリングオールコア） ・土質ボーリング（礫混じり土砂） L=7m/1箇所 ・岩盤ボーリング（軟岩） L=3m/1箇所 ・標準貫入試験（礫混じり土砂） N=7回/1箇所 ・標準貫入試験（軟岩） N=3回/1箇所</p> <p>③ 下竹仁浄水場 着水井（φ66mmボーリングオールコア） ・土質ボーリング（礫混じり土砂） L=7m/1箇所 ・岩盤ボーリング（軟岩） L=3m/1箇所 ・標準貫入試験（礫混じり土砂） N=7回/1箇所 ・標準貫入試験（軟岩） N=3回/1箇所</p> <p>※ボーリング調査を下竹仁配水池に2箇所、下竹仁取水場取水井に1箇所、下竹仁浄水場 着水井に1箇所を見込んでいるが、受注者は、現地（地形）を調査して、耐震計算上必要となる地質調査箇所の検討を行うとともに、最適な調査位置（箇所数）を提案すること。 検討（提案）内容について、調査職員の承諾を得た後、地質調査を実施するものとする。 また、上記の試験以外の地質調査（液状化判定のための土の粒度試験等）の可否についても検討を行い、必要となる土質試験を提案すること。 なお、実施において、調査箇所数・ボーリング延長・試験数量等に変更が生じた場合には、請負金額の変更対象とする。</p>
					2	<p>【劣化調査】</p> <p>① 下竹仁配水池 概略劣化調査 ・劣化目視調査 一式</p> <p>詳細劣化調査 ・鉄筋位置確認（コア採取・はつり調査） N=2箇所 ・コンクリートコア採取 N=2箇所 ・コンクリート圧縮強度試験 N=2箇所 ・鉄筋腐食度及び被り深さ測定 N=2箇所 ・コンクリート中性化深さ測定 N=2箇所 ・断面復旧工 N=2箇所</p>

				<p>② 下竹仁取水場 取水井</p> <p>概略劣化調査 ・劣化目視調査 一式</p> <p>詳細劣化調査 ・鉄筋位置確認（コア採取・はつり調査） N=1 箇所 ・コンクリートコア採取 N=1 箇所 ・コンクリート圧縮強度試験 N=1 箇所 ・鉄筋腐食度及び被り深さ測定 N=1 箇所 ・コンクリート中性化深さ測定 N=1 箇所 ・断面復旧工 N=1 箇所</p> <p>③ 下竹仁浄水場 着水井</p> <p>概略劣化調査 ・劣化目視調査 一式</p> <p>詳細劣化調査 ・鉄筋位置確認（コア採取・はつり調査） N=1 箇所 ・コンクリートコア採取 N=1 箇所 ・コンクリート圧縮強度試験 N=1 箇所 ・鉄筋腐食度及び被り深さ測定 N=1 箇所 ・コンクリート中性化深さ測定 N=1 箇所 ・断面復旧工 N=1 箇所</p> <p>※ 実施において、調査・試験数量等に変更が生じた場合は、請負金額の変更対象とする。 その他、管路の耐震診断、老朽度診断及び液状化判定に必要と判断される調査及び試験があれば、提案を行い、調査員と協議し、承諾を受けた上で実施すること。</p>
--	--	--	--	---

5. 地盤情報の取扱いについて

- (1) 受注者は、地盤情報を一般財団法人国土地盤情報センターの検定を受けた上で、国土地盤情報データベースに登録しなければならない。
- (2) 受注者は、地盤情報の公開・利用の可否について、事前協議における発注者の指示に従って成果品データに公開可否コードを記入した上で、検定の申込を行うこととする。
- (3) 検定に要する費用は、直接経費に国土地盤情報データベース検定費として 1 本当たり 3,000 円を見込んでいます。
- (4) 受注者は、納品の際に、一般財団法人国土地盤情報センターから受領した検定証明書を発注者に提出し、成果が検定済みであることを報告することとする。

下竹仁配水池ほか耐震診断・補強設計業務（その2） 特記仕様書

1. 業務の目的

本業務は、令和7年1月に策定された、上下水道耐震化計画における急所施設である、①下竹仁配水池【1994年築造】、②下竹仁取水場 取水井【1993年築造】、③下竹仁浄水場 着水井【1995年築造】の耐震性を確認するため耐震二次診断を実施し、①下竹仁配水池において耐震性能が不足する場合は、効果的且つ効率的な耐震補強等の対策を計画・立案し、耐震補強工事に必要な実施設計を行うものとする。

また、今回の耐震診断に併せ、劣化調査（物理的調査）を実施し、下竹仁配水池においては劣化対策を計画・立案し、劣化補修工事に必要な実施設計を行い、下竹仁取水場 取水井及び下竹仁浄水場 着水井においては、劣化度を調査し、更新時期を見極めるため行うものである。

なお、耐震二次診断に必要な当施設の基礎地盤に関する地質データが確認できないため、地質調査を併せて実施するものである。

2. 業務対象施設

①下竹仁配水池

所在地：東広島市福富町下竹仁

構造：鉄筋コンクリート造

構造型式：壁式

構造形態：池状構造物

基礎種別：直接基礎

※施設の詳細については、別添図面のとおり

施設容量： $V=700\text{m}^3$ （幅7.0m×長さ12.5m×有効水深4.0m×2池）

竣工年度：1994年（平成6年度）

②下竹仁取水場 取水井

所在地：東広島市福富町下竹仁

構造：鉄筋コンクリート造

構造型式：壁式

構造形態：池状構造物

基礎種別：直接基礎

※施設の詳細については、別添図面のとおり

施設容量： $V=90\text{m}^3$ （ $\phi 4.0\text{m}$ ×有効水深7.0m×1池）

竣工年度：1993年（平成5年度）

③下竹仁浄水場 着水井

所在地：東広島市福富町下竹仁

構造：鉄筋コンクリート造

構造型式：壁式

構造形態：コンクリート構造物

基礎種別：直接基礎

※施設の詳細については、別添図面のとおり

施設容量：N=1 箇所（幅 5.8m×長さ 1.9m×高さ 3.3m）

竣工年度：1995 年（平成 7 年度）

3. 業務内容

本業務の主な作業内容は、次のとおりとする。

なお、施設築造時の竣工図、当該施設に関連する資料については、広島県水道広域連合企業団東広島事務所（以降、企業団とする。）から貸与する。

3-1. 設計協議

設計協議は、初回（業務着手時）・中間打合せ（3 回）・最終（成果品納入時）に実施することとし、必要な経費を見込んでいる。

初回打合せは、業務内容、実施工程、土質・劣化調査及び耐震診断の方針、検討事項等の確認を行うものとする。

中間打合せは、土質・劣化調査及び診断過程の報告、今後の検討課題、又その解決方法等の協議を行うものとする。

最終打合せは、業務完了時の総括説明及び成果品納入、検収の立会いを行うものとする。

3-2. 現地調査（劣化調査）

1) 現地調査

対象施設の関連資料と現地状況を照合し、関連資料などに差異があれば見直しを行い、その後の検討において適切に反映すること。

また、各施設の運転状況や運用水位及び立地条件（周辺施設との位置関係や電気ケーブル等の埋設物の状況等）などについて調査を行い、さらに対象施設の機能性、維持管理に関する課題や今後の設備改良計画についてヒアリングなどを行うことにより、耐震診断の条件設定や耐震補強方法の検討等に必要と考えられる事象について整理すること。

2) 概略劣化調査

対象施設の劣化状況を把握するため、現地調査に併せて、次の調査を実施すること。
また、全ての現地調査が完了次第、調査結果をとりまとめ、劣化調査報告書を作成すること。

(1) 劣化目視調査

劣化目視調査は、構造物の天井、側壁及び底版等の主要部材と竣工図との整合性、躯体表面の劣化状況及び水準器等により地盤沈下等の有無の確認を行うこと。なお、本調査の結果は、クラックマップ作成の基礎データとなるため、不具合箇所等を分かりやすく整理すること。

調査対象は、基本的に構造物全面とするが、水運用に支障となる範囲の調査については、企業団と水運用の調整について協議を行うこと。下竹仁取水場取水井においては水運用に支障となるため、潜水士による調査とすること。また、高所の範囲では、ローリングタワー等の仮設を用い、安全帯着用等の転落防止策を講じて、適切な調査を行うこととするが、仮設置が不可の範囲については、企業団と対応等の協議を行うこと。

3) 詳細劣化調査

詳細劣化調査は、次に示す物理的調査を実施すること。(数値は、合計値)

なお、受注者は、上記の現地調査等を踏まえて、耐震診断上必要となる詳細劣化調査箇所の検討を行うとともに、最適な調査位置(箇所数)を提案すること。

また、詳細劣化調査の調査方法・位置等をまとめた「劣化調査計画書」を作成・提出し、企業団の承諾を得た後に、詳細劣化調査作業を開始すること。

(1) 鉄筋位置確認

詳細劣化調査(コア採取・はつり調査)を行うにあたり、事前に電磁レーダを用いて鉄筋位置を確認すること。確認位置については、調査職員立会の上、最終決定すること。

下竹仁配水池：N=2箇所

下竹仁取水場 取水井：N=1箇所

下竹仁浄水場 着水井：N=1箇所

(2) コンクリート強度試験

採取したコンクリートコアを供試体として、コンクリートの圧縮強度試験を行うこととし、試験は、公的試験機関に委託すること。コンクリートコアは、 $\phi 100\text{mm} \times L=200\text{mm}$ (2D)を標準とするが、壁厚・鉄筋間隔の調査結果、これにより難いと判断される場合には、別途口径を検討すること。

なお、コア採取位置については、既存資料及び現地調査後に調査業者より提案の上、企業団と協議して決定するものとする。また、コア採取方法及び圧縮強度試験方法は、「JIS A 1107」、「JIS A 1108」によるものとする。

下竹仁配水池：N=2箇所

下竹仁取水場 取水井：N=1箇所

下竹仁浄水場 着水井：N = 1 箇所

(3) 鉄筋腐食度及び被り深さ測定

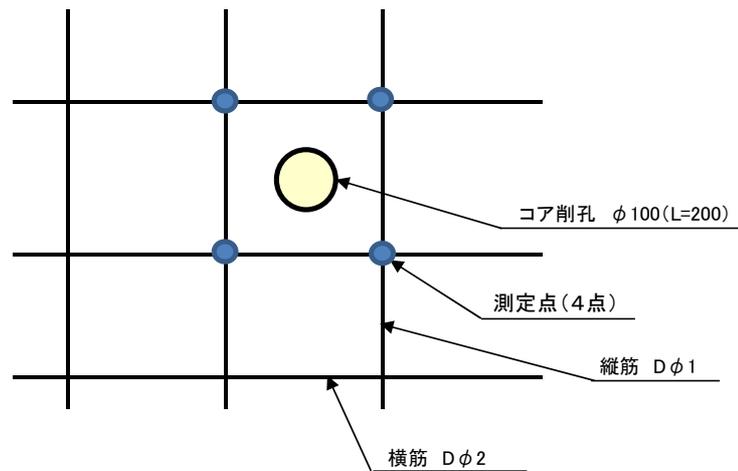
コアを採取した周囲のコンクリート面（外面）をはつり、鉄筋を露出させ、鉄筋の腐食度及び被り深さを測定すること。測定点は、次図のとおり 1 箇所当たり 4 点とし、コンクリートのはつり範囲については、任意とする。

下竹仁配水池：N = 2 箇所（測定点：4 点× 2 箇所 = 8 点）

下竹仁取水場 取水井：N = 1 箇所（測定点：4 点× 1 箇所 = 4 点）

下竹仁浄水場 着水井：N = 1 箇所（測定点：4 点× 1 箇所 = 4 点）

○ コア削孔・鉄筋腐食調査 標準図(1箇所当たり)



(4) コンクリート中性化深さ測定

上記のコンクリートコアを用いて、中性化深さを測定すること。測定点は、1 箇所（検体）当たり 10 点を見込む。

なお、コンクリートの中性化深さの測定方法は、「JIS A 1152」（フェノールフタレイン法）によるものとする。

下竹仁配水池：N = 2 箇所（測定点：10 点× 2 箇所 = 20 点）

下竹仁取水場 取水井：N = 1 箇所（測定点：10 点× 1 箇所 = 10 点）

下竹仁浄水場 着水井：N = 1 箇所（測定点：10 点× 1 箇所 = 10 点）

(5) 断面復旧工

コア採取箇所及びはつり箇所の復旧は、無収縮モルタルにより施工するものとし、施工箇所周辺の表面は防水モルタル塗り（現況復旧）を施すものとする。

(6) その他

受注者は、調査項目・箇所数を精査し、その他耐震診断等に必要と思われる調査項目がある場合は、企業団と協議すること。

4) 劣化評価

概略劣化調査（劣化目視調査）及び詳細劣化調査（物理的調査）の結果をとりまとめて、各施設の耐荷力評価並びに耐久性評価を行うこと。耐久性評価は、対象施設の

劣化特性を把握した上で、各施設の残寿命等の評価を行うこと。

なお、調査図（クラックマップ）等を作成して、劣化・不具合箇所を分かりやすく整理すること。

3-3. 地質調査

本業務では、耐震診断を行うにあたり、対象施設の支持地盤の状況を把握するため、次の調査を実施する。

1) 土質ボーリング・岩盤ボーリング

ボーリング調査及び標準貫入試験は、1箇所当りL=10mを見込んでいるが、調査位置及び箇所数については、施設築造時の竣工図を基に現地踏査を踏まえ、最適な調査位置を確定した後、「地質調査計画書」を作成・提出し、企業団の承諾を得た後に作業を開始すること。

下竹仁配水池：N=2箇所

下竹仁取水場 取水井：N=1箇所

下竹仁浄水場 着水井：N=1箇所

2) 調査内容

地質調査の設計内容として、次のとおり見込んでいる。

(1) ボーリング調査 φ66mm 1箇所当りL=10m（見込み）

（土質ボーリング：7m/箇所、岩盤ボーリング：3m/箇所）

(2) 標準貫入試験 1箇所当りN=10回（見込み）

（礫混じり土砂：7回/箇所、軟岩：3回/箇所）

※実施において、調査・試験数量等に変更が生じた場合は、請負金額の変更対象とする。

下竹仁配水池：N=2箇所

下竹仁取水場 取水井：N=1箇所

下竹仁浄水場 着水井：N=1箇所

3-4. 診断条件整理

各水道施設を対象として、総合的に耐震診断の条件の整理を行うものとする。

1) 既存資料収集・整理

企業団から貸与する対象施設の施設設備台帳、竣工図、修繕記録等の関連資料及び平成23年度 東広島市水道事業施設更新計画の簡易耐震診断結果等を把握すること。

2) 地盤検討

対象施設については、当初設計・施工時の既往の地質データが確認できないため、新規に地質調査を行い、耐震診断を行うために必要な地盤条件の検討及びデータ整理を行う。

なお、地質調査の詳細は、3-3のとおりとし、検討及びデータ整理の作業については、これに含むものとする。

3) 耐震基本方針及び設計地震動設定

本業務における想定地震動の規模や対象施設の重要度に応じた耐震化目標水準等の方針は、基本的に『水道施設耐震工法指針・解説（2022年版）』に準拠するものであるが、「広島県地域防災計画」、「東広島市地域防災計画」及びその他の各種耐震基準書（最新版）等とも整合を図り合理的に設定すること。

なお、耐震診断におけるレベル1地震動及びレベル2地震動の設定方法については、次のとおりとする。

<レベル1地震動>

『水道施設耐震工法指針・解説（2022年版）』（I.本編 表-3.3.1（P43））に示される、建設地点の地盤条件及び構造物の固有周期を用い、『水道施設耐震工法指針・解説（2009年版）』（総論解説編Ⅲ（P185~））に示す設計震度を用いる。

<レベル2地震動>

原則として『水道施設耐震工法指針・解説（2022年版）』（I.本編 表-3.3.2（P45））に示される（方法4）により設定を行うこととする。

方法4：兵庫県南部地震の観測記録を基に設定された設計震度、設計応答スペクトル

3-5. 耐震診断評価

1) 解析モデル作成

本業務における構造系のモデル化に当っては、支承条件、底盤の剛性評価等を考慮した上で、適切な方法で設定・作成すること。

解析手法は、2次元・静的・線形解析を基本とするが、他の解析手法が適切な場合には、協議の上決定する。

2) 耐震診断

耐震診断の実施に当っては、3-2. 現地調査（劣化調査）、3-3. 地質調査、3-4. 診断条件整理から得られた各種条件・データを基に行うこととする。

(1) 解析条件の整理

竣工図、地質調査、劣化調査結果及びその他情報（劣化調査結果）を基に、解析に必要な基本条件（地質物性値、材料条件、荷重条件等）を整理すること。

(2) 地盤に対する詳細診断

各水道施設周辺の地形及び地下水位等の地質調査結果等を基にして、地盤対

する耐震性の詳細診断を行うとともに、液状化及び側方流動、斜面におけるすべり等に関する影響（安全性等）について安定計算等を行い、耐震性を照査すること。

（３）構造物に対する詳細診断

本業務では、解析モデルを二次元線形モデルにより作成し、耐震計算方法は静的解析法（震度法）により、耐震性能の照査項目である断面力及び応力度を算定することを原則とする。

３）耐震性能の照査

耐震性能について、レベル 1 地震動の場合には耐震性能 1 を保持するものとして、許容応力度法を用いての照査を行うこと。また、レベル 2 地震動の場合には耐震性能 2 を保持するものとして、限界状態設計法を用いて照査を行うこと。

４）総合評価

劣化調査及び耐震性能の照査結果を基に、基礎、躯体、さらには付帯設備、周辺配管等を配水システムとしての視点で、総合的見地から現況における耐震性能について、配水池を全体的に評価すること。

３－６．対策案の検討

劣化調査及び施設耐震性能の照査結果に基づき補強対策、劣化対策の検討を行い、これらの対策を総合的に判断した上で、施設の現状における課題の対策案を提案すること。

１）補強対策検討

耐震性能の照査結果、所定の耐震性能が確保されていないと判定された場合は、企業団が提示する条件等を基に施設の機能性及び経済性等の観点から耐震補強と更新について、比較検討を行うものとする。

また、耐震補強等の方法や使用材料については、3 案以上の提案を行った上で、対策の確実性、施工性、経済性、水質への影響、景観性及び施工時の水運用等について、総合的に比較検討の資料作成を行い、企業団との協議により、最適案を決定しとりまとめを行うこと。

なお、耐震性能が確保されていると判断された場合、もしくは、地質調査の結果により実質的な補強工事等が見込めない場合には、本検討は不要とし請負金額の減額対象とする。

２）劣化対策検討

劣化調査（劣化診断）の結果、所定の健全性が確保されていないと判定された場合には、劣化補修対策の検討を行うこと。

劣化補修等の方法や使用材料については、3 案以上の提案を行った上で、対策の確実性、施工性、経済性、水質への影響、景観性、及び施工時の水運用等について、総

合的に比較検討の資料作成を行い、企業団との協議により、最適案を決定してとりまとめを行うこと。

また、劣化対策と併せて今後の延命化を図るための維持管理の方策についても提案すること。

なお、地質調査の結果により実質的な補強工事等が見込めない場合には、本検討は不要とし請負金額の減額対象とする。

3) 対策後の構造解析

耐震補強対策の検討結果を踏まえ、補強対策後の耐震計算を再度実施して対策案の効果を定量的に評価すること。

なお、耐震性能が確保されていると判断された場合、もしくは、地質調査の結果により実質的な補強工事等が見込めない場合には、本解析は不要とし請負金額の減額対象とする。

4) 施工検討

耐震補強及び劣化補修工事について、その施工方法、施工手順等を取りまとめて、概略工程表を作成すること。

また、施工に必要な施工ヤード・仮設設備・搬出入路等（仮設工及び付帯工）について、検討するとともに詳細な施工計画の追加検討作業が必要と判断される場合には、必要な作業内容（項目）の提案を行い、調査職員の承諾を得た後、実施するものとし、この作業については請負代金額の変更対象とする。

なお、各診断を行った結果、耐震補強及び劣化補修が不要と判断された場合、もしくは、地質調査の結果により実質的な補強工事等が見込めない場合には、本検討は不要とし請負金額の減額対象とする。

5) 対策案の概算工事費算出

耐震補強及び劣化補修工事について、上記の施工検討の結果等を踏まえて作成する実施設計図を基に数量計算書を作成し、概算工事費を算出すること。

なお、概算工事費の算出に当たり、使用する施工歩掛や材料単価の優先順位は、調査職員の指示によること。

また、4) 施工検討の資料と併せて、「概略施工計画」（施工計画、工程表、数量計算、概算工事費）を取りまとめて、提出すること。

なお、各診断を行った結果、耐震補強及び劣化補修が不要と判断された場合、もしくは、地質調査の結果により実質的な補強工事等が見込めない場合には、本作業は不要とし請負金額の減額対象とする。

3-7. 補強補修実施設計

1) 設計図作成（耐震補強・劣化補修）

耐震補強及び劣化補修の対策検討結果に基づき、工事実施に必要となる設計図面を作成する。

また、耐震補強及び劣化補修工事の特記仕様書についても作成する。

なお、各診断を行った結果、耐震補強及び劣化補修が不要と判断された場合、もしくは、地質調査の結果により実質的な補強工事等が見込めない場合には、本作業は不要とし請負金額の減額対象とする。

(1) 設計図の作成は、位置図、配置図、平面図、立面図、断面図、詳細図、構造図、仮設図等の工事の実施に必要となる図面とする。

なお、企業団が指示する通気塔、人孔蓋、梯子、振れ止め金具等の付帯設備関係の補修箇所についても詳細図面を作成するものとする。

(2) 製図の基準は、原則として企業団の指示に従うこと。ただし、企業団の指示する以外は、土木学会制定『土木製図基準』によること。

(3) 図面大きさは原則としてA1判とし、様式は企業団の基準によること。

(4) 縮尺は、原則として次のとおりとする。

位置図・・・1/10,000 以下、配置図・・・1/500～1/200、平面図・・・1/200～1/100、
立面図・・・1/200～1/100、断面図・・・1/200～1/100、構造図・・・1/200～1/100、
詳細図・・・1/50～1/10、施工図・仮設図・・・1/500～1/200

積算参考図・・・作成図面の縮尺とする。

上記以外の必要なものについては、別途企業団と協議の上、決定すること。

(5) CAD で設計図面を作成した場合は、図面データを SXF (sfc) 形式で電子納品すること。その際、環境設定ファイルも合わせて提出すること。また、ウイルスチェックに関する情報を記入すること。(ウイルス対策ソフト名、チェック年月日)

4. 準拠図書等

本業務で準拠する主な図書等は、次のとおりとし、最新版を用いることとする。なお、これら以外の図書等を使用する場合は、別途企業団と協議を行うこと。

(ア) 水道施設設計指針 日本水道協会

(イ) 水道施設設計業務委託標準仕様書 日本水道協会

(ウ) 水道施設の耐震設計入門 日本水道協会

(エ) 水道維持管理指針 日本水道協会

(オ) 水道施設耐震工法指針・解説 I 総論 日本水道協会

(カ) 水道施設耐震工法指針・解説 II 各論 日本水道協会

(キ) 道路橋示方書・同解説 I 共通編 IV 下部構造編 日本道路協会

(ク) 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 日本道路協会

(ケ) コンクリート標準示方書【設計編】 土木学会

- (コ) コンクリート標準示方書【維持管理編】 土木学会
- (サ) コンクリートのひび割れ調査・補修・補強指針 日本コンクリート学会
- (シ) 東広島市地域防災計画
- (ス) 広島県地域防災計画
- (セ) 広島県地震動被害想定調査結果

5. 成果品

成果品は、次のとおりとする。

- (ア) A4パイプ式ファイル製本 2部 (正・副)
- (イ) 電子媒体 (CD-R) 1組 (本編、資料編及び本業務に係る全ての基礎データ)

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
地質調査業務費					
一般調査	1	式			
直接調査費	1	式			
地質調査	1	式			
土質ボーリング(オールコアボーリング) 孔径 φ 6.6mm 礫混じり土砂	28	m			
土質ボーリング(オールコアボーリング) 孔径 φ 6.6mm 礫混じり土砂	28	m			
岩盤ボーリング(オールコアボーリング) 孔径 φ 6.6mm 軟岩	12	m			
岩盤ボーリング(オールコアボーリング) 孔径 φ 6.6mm 軟岩	12	m			
標準貫入試験 礫混じり土砂	28	回			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標準貫入試験 礫混じり土砂	28	回			
標準貫入試験 軟岩	12	回			
標準貫入試験 軟岩	12	回			
解析等調査業務（地質調査）	1	式			
資料整理とりまとめ（地質調査）	1	業務			
資料整理とりまとめ(直接人件費)直接調査費	1	業務			
断面図等の作成（地質調査）	1	業務			
断面図等の作成（直接人件費）直接調査費	1	業務			
劣化調査	1	式			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
劣化目視調査	1	式			
劣化目視調査(下竹仁配水池)	1	式			
劣化目視調査(下竹仁取水場 取水井) 潜水土による劣化目視調査含む	1	式			
劣化目視調査(下竹仁浄水場 着水井)	1	式			
鉄筋位置確認 電磁レーダー法	4	回			
鉄筋位置確認 電磁レーダー法	4	回			
コア採取 φ100×200 補修費・処分費を含む	4	本			
コア採取 φ100×200 補修費・処分費を含む	4	本			
圧縮強度試験 JIS A 1107	4	検体			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
圧縮強度試験 JIS A 1107	4	検体			
はつり調査 鉄筋腐食度・被り深さ 補修費・処分費を含む	4	箇所			
はつり調査 鉄筋腐食度・被り深さ 補修費・処分費を含む	4	箇所			
中性化試験 JIS A 1152	4	検体			
中性化試験 JIS A 1152	4	検体			
解析等調査業務（劣化調査）	1	式			
資料整理とりまとめ（直接調査費分） 劣化調査	1	式			
資料整理とりまとめ（直接調査費分） 劣化調査	1	式			
調査図等の作成（直接調査費分） 劣化調査	1	式			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
調査図等の作成（直接調査費分） 劣化調査	1	式			
直接経費	1	式			
国土地盤情報データベース検定費 R C C M（地質部門又は土質及び基礎部門） 指定責任者以外	1	式			
諸経費対象外(調査)					
国土地盤情報データベース検定費 R C C M（地質部門又は土質及び基礎部門） 指定責任者以外	1	式			
直接調査費					
間接調査費					
運搬費	1	式			
運搬費	1	式			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					
	1	式			
資機材運搬					
	2	日			
機材(潜水調査) 送気設備・潜水具・撮影機器 計測機器・消毒衛生機器					
	1	式			
準備費					
	1	式			
準備費					
	1	式			
準備及び跡片付け					
	1	業務			
準備及び跡片付け					
	1	業務			
調査孔閉塞					
	4	箇所			
調査孔閉塞					
	4	箇所			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設費					
	1	式			
足場設備					
	1	式			
平坦足場					
	4	箇所			
平坦足場 板材足場(高さ0.3m以下) Br深度50m以下	4	箇所			
移動足場 幅1.5m 高さ2.0m以下 1段	1	式			
移動足場 幅1.5m 高さ2.0m以下 1段	1	式			
旅費交通費	1	式			
旅費交通費	1	式			
旅費交通費	1	式			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
旅費交通費（調査）					
	1	式			
施工管理費					
	1	式			
施工管理費					
	1	式			
施工管理費					
	1	式			
施工管理費（調査）					
	1	式			
純調査費					
諸経費					
計算情報……					
対象額……					
率……					
業務価格					
消費税等相当額					
計算情報……					
対象額……					
率……					

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐震診断・補強設計業務費					
設計業務【共通】	1	式			
直接人件費	1	式			
設計協議【共通】	1	式			
第1回打合せ	1	回			
第1回打合せ	1	回			
中間打合せ	3	回			
中間打合せ	3	回			
最終打合せ	1	回			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
最終打合せ					
	1	回			
設計業務【下竹仁配水池】					
	1	式			
直接人件費					
	1	式			
現地調査【下竹仁配水池】					
	1	式			
現地調査					
	1	式			
現地調査					
	1	式			
既存資料調査【下竹仁配水池】					
	1	式			
既存資料収集・整理 RC配水池 V=700m ³					
	1	式			
既存資料収集・整理 RC配水池 V=700m ³					
	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
診断条件整理【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			
地盤検討 RC配水池 V=700m3	1	式			
地盤検討 RC配水池 V=700m3	1	式			
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC配水池 V=700m3	1	式			
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC配水池 V=700m3	1	式			
耐震診断評価【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			
解析モデル作成 RC配水池 V=700m3	1	式			
解析モデル作成 RC配水池 V=700m3	1	式			
耐震診断 RC配水池 V=700m3	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐震診断 RC配水池 V=700m3	1	式			
耐震性能の照査 RC配水池 V=700m3	1	式			
耐震性能の照査 RC配水池 V=700m3	1	式			
総合評価 RC配水池 V=700m3	1	式			
総合評価 RC配水池 V=700m3	1	式			
対策案の検討【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			
補強対策検討 RC配水池 V=700m3	1	式			
補強対策検討 RC配水池 V=700m3	1	式			
劣化対策検討 RC配水池 V=700m3	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
劣化対策検討 RC配水池 V=700m3	1	式			
対策後の構造解析 RC配水池 V=700m3	1	式			
対策後の構造解析 RC配水池 V=700m3	1	式			
施工検討 RC配水池 V=700m3	1	式			
施工検討 RC配水池 V=700m3	1	式			
対策案の概算工事費作成 RC配水池 V=700m3	1	式			
対策案の概算工事費作成 RC配水池 V=700m3	1	式			
補強図・補修図の作成 RC配水池 V=700m3	1	式			
補強図・補修図の作成 RC配水池 V=700m3	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
報告書作成【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			
報告書作成 RC配水池 V=700m3	1	式			
報告書作成 RC配水池 V=700m3	1	式			
実施詳細設計【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			
設計図作成 RC配水池 V=700m3	1	式			
設計図作成 RC配水池 V=700m3	1	式			
数量計算 RC配水池 V=700m3	1	式			
数量計算 RC配水池 V=700m3	1	式			
照査【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
照査 RC配水池 V=700m ³	1	式			
照査 RC配水池 V=700m ³	1	式			
設計業務【下竹仁取水場 取水井】	1	式			
直接人件費	1	式			
現地調査【下竹仁取水場 取水井】	1	式			
現地調査	1	式			
現地調査	1	式			
既存資料調査【下竹仁取水場 取水井】 RC取水井 V=90m ³	1	式			
既存資料収集・整理 RC取水井 V=90m ³	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
既存資料収集・整理 RC取水井 V=90m ³	1	式			
診断条件整理【下竹仁取水場 取水井】 RC取水井 V=90m ³	1	式			
地盤検討 RC取水井 V=90m ³	1	式			
地盤検討 RC取水井 V=90m ³	1	式			
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC取水井 V=90m ³	1	式			
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC取水井 V=90m ³	1	式			
耐震診断評価【下竹仁取水場 取水井】 RC取水井 V=90m ³	1	式			
解析モデル作成 RC取水井 V=90m ³	1	式			
解析モデル作成 RC取水井 V=90m ³	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐震診断 RC取水井 V=90m3	1	式			
耐震診断 RC取水井 V=90m3	1	式			
耐震性能の照査 RC取水井 V=90m3	1	式			
耐震性能の照査 RC取水井 V=90m3	1	式			
総合評価 RC取水井 V=90m3	1	式			
総合評価 RC取水井 V=90m3	1	式			
報告書作成【下竹仁取水場 取水井】 RC取水井 V=90m3	1	式			
報告書作成 RC取水井 V=90m3	1	式			
報告書作成 RC取水井 V=90m3	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
照査【下竹仁取水場 取水井】 RC取水井 V=90m ³	1	式			
照査 RC取水井 V=90m ³	1	式			
照査 RC取水井 V=90m ³	1	式			
設計業務【下竹仁浄水場 着水井】	1	式			
直接人件費	1	式			
現地調査【下竹仁浄水場 着水井】	1	式			
現地調査	1	式			
現地調査	1	式			
既存資料調査【下竹仁浄水場 着水井】 RC着水井 1日最大給水量855m ³ /日	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
既存資料収集・整理 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
既存資料収集・整理 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
診断条件整理【下竹仁浄水場 着水井】 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
地盤検討 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
地盤検討 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
耐震診断評価【下竹仁浄水場 着水井】 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
解析モデル作成 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
解析モデル作成 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
耐震診断 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
耐震診断 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
耐震性能の照査 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
耐震性能の照査 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
総合評価 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
総合評価 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
報告書作成【下竹仁浄水場 着水井】 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
報告書作成 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
報告書作成 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
照査【下竹仁浄水場 着水井】 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
照査 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
照査 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			
直接人件費					
直接経費					
旅費交通費	1	式			
旅費交通費	1	式			
旅費交通費	1	式			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
旅費交通費（設計）					
	1	式			
電子成果品作成費					
	1	式			
電子成果品作成費					
	1	式			
電子成果品作成費					
	1	式			
電子成果品作成費(設計) 概略設計, 予備設計及び詳細設計					
	1	式			
直接原価					
その他原価					
計算情報……					
対象額……					
率……					
間接原価					
業務原価					

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費等					
計算情報……					
対象額……					
率……					
業務価格					
消費税等相当額					
計算情報……					
対象額……					
率……					
業務委託料					
業務価格計					
消費税相当額計					
計算情報……					
対象額……					
率……					
業務費計					

配管平面图 5-15.000

(下竹地区)



凡例	
[Symbol]	行政区域
[Symbol]	町界
[Symbol]	5.000
[Symbol]	5.100
[Symbol]	5.200
[Symbol]	5.300
[Symbol]	5.400
[Symbol]	5.500
[Symbol]	5.600
[Symbol]	5.700
[Symbol]	5.800
[Symbol]	5.900
[Symbol]	6.000
[Symbol]	6.100
[Symbol]	6.200
[Symbol]	6.300
[Symbol]	6.400
[Symbol]	6.500
[Symbol]	6.600
[Symbol]	6.700
[Symbol]	6.800
[Symbol]	6.900
[Symbol]	7.000
[Symbol]	7.100
[Symbol]	7.200
[Symbol]	7.300
[Symbol]	7.400
[Symbol]	7.500
[Symbol]	7.600
[Symbol]	7.700
[Symbol]	7.800
[Symbol]	7.900
[Symbol]	8.000
[Symbol]	8.100
[Symbol]	8.200
[Symbol]	8.300
[Symbol]	8.400
[Symbol]	8.500
[Symbol]	8.600
[Symbol]	8.700
[Symbol]	8.800
[Symbol]	8.900
[Symbol]	9.000
[Symbol]	9.100
[Symbol]	9.200
[Symbol]	9.300
[Symbol]	9.400
[Symbol]	9.500
[Symbol]	9.600
[Symbol]	9.700
[Symbol]	9.800
[Symbol]	9.900
[Symbol]	10.000
[Symbol]	10.100
[Symbol]	10.200
[Symbol]	10.300
[Symbol]	10.400
[Symbol]	10.500
[Symbol]	10.600
[Symbol]	10.700
[Symbol]	10.800
[Symbol]	10.900
[Symbol]	11.000
[Symbol]	11.100
[Symbol]	11.200
[Symbol]	11.300
[Symbol]	11.400
[Symbol]	11.500
[Symbol]	11.600
[Symbol]	11.700
[Symbol]	11.800
[Symbol]	11.900
[Symbol]	12.000
[Symbol]	12.100
[Symbol]	12.200
[Symbol]	12.300
[Symbol]	12.400
[Symbol]	12.500
[Symbol]	12.600
[Symbol]	12.700
[Symbol]	12.800
[Symbol]	12.900
[Symbol]	13.000
[Symbol]	13.100
[Symbol]	13.200
[Symbol]	13.300
[Symbol]	13.400
[Symbol]	13.500
[Symbol]	13.600
[Symbol]	13.700
[Symbol]	13.800
[Symbol]	13.900
[Symbol]	14.000
[Symbol]	14.100
[Symbol]	14.200
[Symbol]	14.300
[Symbol]	14.400
[Symbol]	14.500
[Symbol]	14.600
[Symbol]	14.700
[Symbol]	14.800
[Symbol]	14.900
[Symbol]	15.000
[Symbol]	15.100
[Symbol]	15.200
[Symbol]	15.300
[Symbol]	15.400
[Symbol]	15.500
[Symbol]	15.600
[Symbol]	15.700
[Symbol]	15.800
[Symbol]	15.900
[Symbol]	16.000
[Symbol]	16.100
[Symbol]	16.200
[Symbol]	16.300
[Symbol]	16.400
[Symbol]	16.500
[Symbol]	16.600
[Symbol]	16.700
[Symbol]	16.800
[Symbol]	16.900
[Symbol]	17.000
[Symbol]	17.100
[Symbol]	17.200
[Symbol]	17.300
[Symbol]	17.400
[Symbol]	17.500
[Symbol]	17.600
[Symbol]	17.700
[Symbol]	17.800
[Symbol]	17.900
[Symbol]	18.000
[Symbol]	18.100
[Symbol]	18.200
[Symbol]	18.300
[Symbol]	18.400
[Symbol]	18.500
[Symbol]	18.600
[Symbol]	18.700
[Symbol]	18.800
[Symbol]	18.900
[Symbol]	19.000
[Symbol]	19.100
[Symbol]	19.200
[Symbol]	19.300
[Symbol]	19.400
[Symbol]	19.500
[Symbol]	19.600
[Symbol]	19.700
[Symbol]	19.800
[Symbol]	19.900
[Symbol]	20.000

図面番号 2 縮尺 1:500
 工種 福富町営下水道事業
 種別 配管平面图
 工事箇所 町内 福富町
 福富町住民会

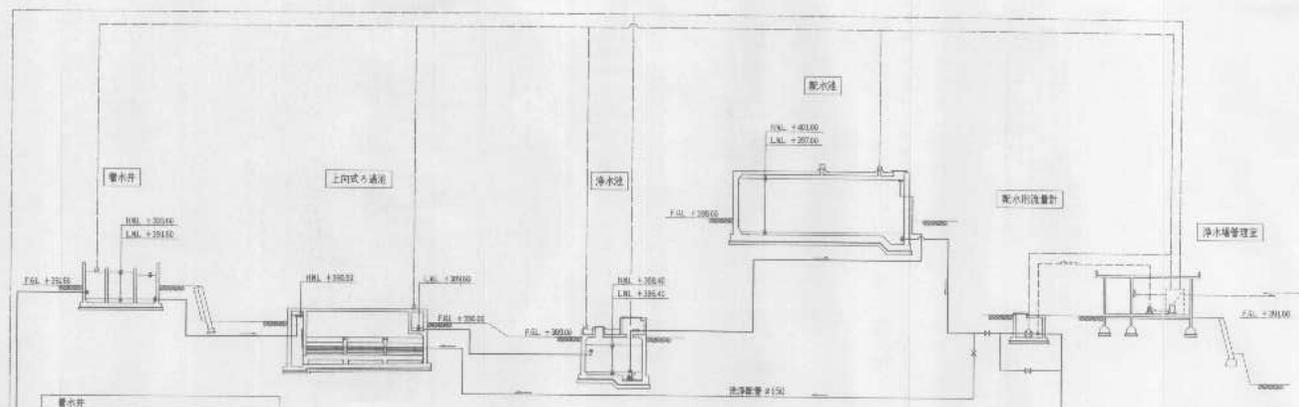
水位高低関連図

計画給水人口 1,050人
1日最大給水量 900.0m³

浄水場

浄水場管理室	
内訳	ポンプ室 電気室、減圧室、倉庫
種 別	1F洋室
形状寸法	7.00m x 6.50m x 軒高2.70m
床 面 積	45.50 m ²
内 訳	ポンプ室 4.00m x 2.00m 6.30 m ² 電気室 4.00m x 4.50m 18.00 m ² 減圧室 3.00m x 4.50m 13.50 m ² 庫 房 3.00m x 2.00m 6.00 m ²

減圧弁	
形 式	全自動減圧機構
ポンプ	ダイヤフラムポンプ
注 入 量	17.6 cc/min
運転方法	遠隔制御方式
要 添 付	1002書 2冊
台 数	2台(1内1外設置)



取水井	
種 別	RC造
形状寸法	1.50m x 2.00m x H=2.00m
台 数	1台

上向きろ過機	
種 別	RC造
形状寸法	5.70m x 8.40m x H=4.00m
注 意	4池
ろ過速度	4.0 m/d
処理水量	500.0m ³ /d

浄水池	
種 別	RC造
形状寸法	2.20m x 4.30m x H=2.00m
池 数	2池
有効容量	375m ³
保水時間	900.0m ³ x 1時間/台

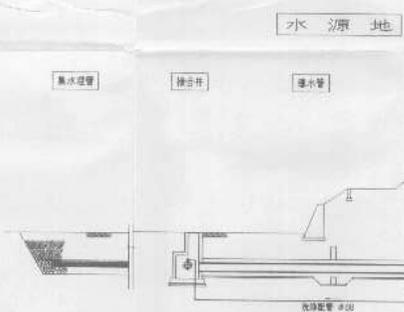
洗浄装置	
種 別	鋼製管及び鋼管
形状寸法	φ150

配水池	
種 別	RC造
形状寸法	7.80m x 12.50m x H=4.00m
池 数	2池
有効容量	700.0m ³
保水時間	500.0m ³ /台 x 1.50m ³ /min x 60分 = 67.5分

配水用流量計	
形 式	電磁流量計
口 径	φ150mm
ピ ッ ト	RC造
寸 法	2.00m x 1.30m x H=1.50m

取水ポンプ	
形 式	水中渦巻ポンプ
口 径	φ80mm
抽 水 量	Q = 0.62m ³ /min
全 揚 程	H = 1.50m
出 力	3.7kw
台 数	2台

電気室	
種 別	CS造
形状寸法	2.95m x 2.65m x 軒高2.50m
床 面 積	7.82 m ²



取水管理	
種 別	スーパーフロー
形状寸法	φ400mm x 5.0m x 2本
計測水量	1.00m ³ /d

挿入弁	
種 別	RC造
形状寸法	1.80m x 1.80m x H=3.50m

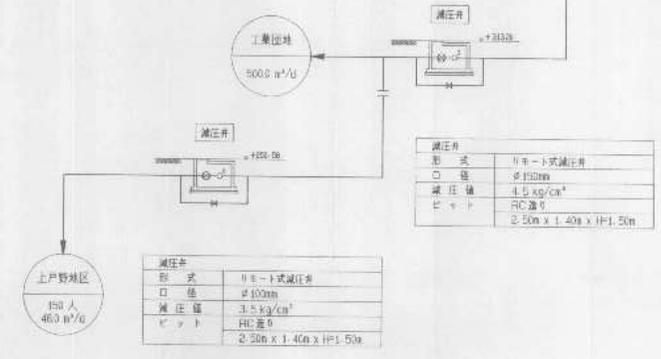
洗浄装置	
種 別	鋼製管及び鋼管
形状寸法	φ80

取水管	
種 別	コンクリート管
口 径	φ600
延 長	16.50m

取水井	
種 別	RC造
形状寸法	1.50m x 2.00m x H=2.00m

取水ポンプ	
形 式	水中渦巻ポンプ
口 径	φ80mm
抽 水 量	Q = 0.58m ³ /min
全 揚 程	H = 0.85m
出 力	16.5kw
台 数	2台(1内1外設置)

取水用流量計	
形 式	電磁流量計
口 径	φ100mm
ピ ッ ト	RC造
寸 法	1.80m x 1.80m x H=3.50m

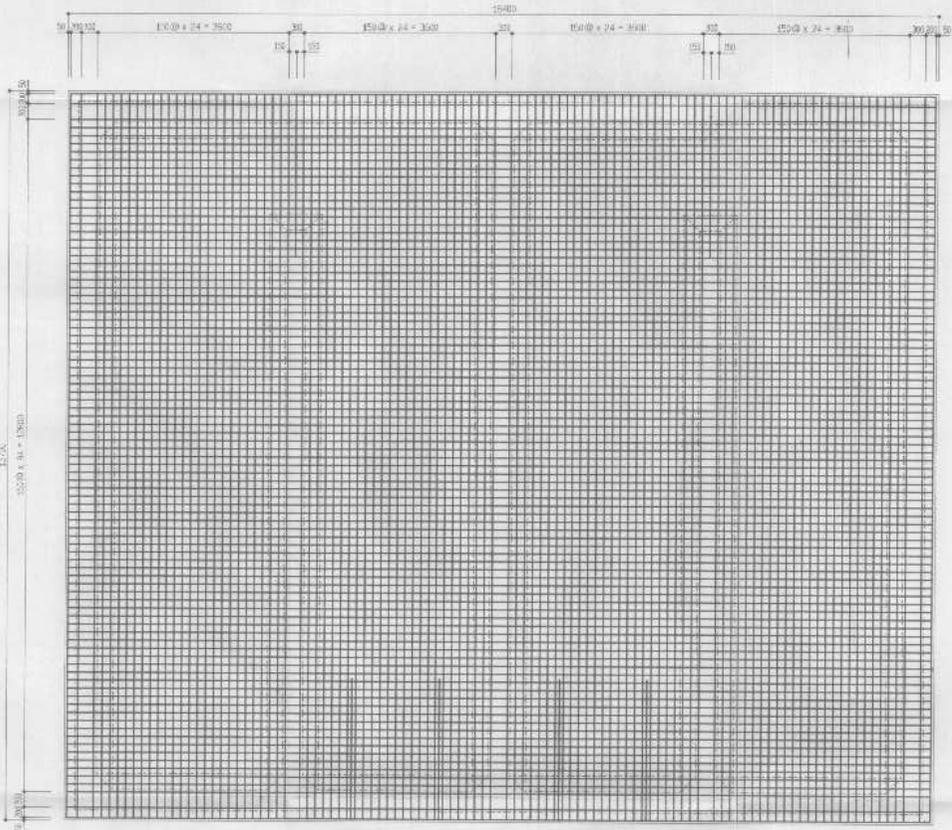


減圧弁	
形 式	リレー式減圧弁
口 径	φ100mm
減 圧 係	3.5 kg/cm ²
ピ ッ ト	RC造
寸 法	2.00m x 1.40m x H=1.50m

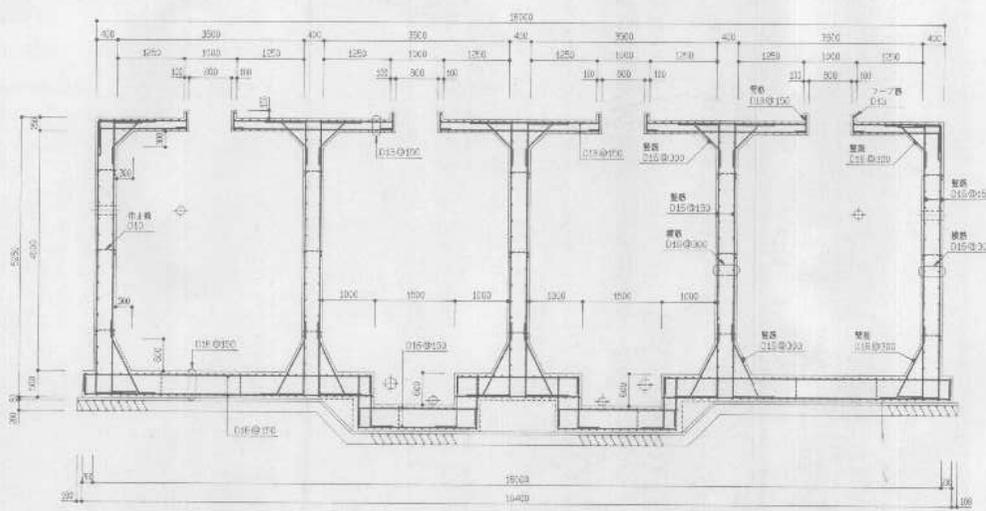
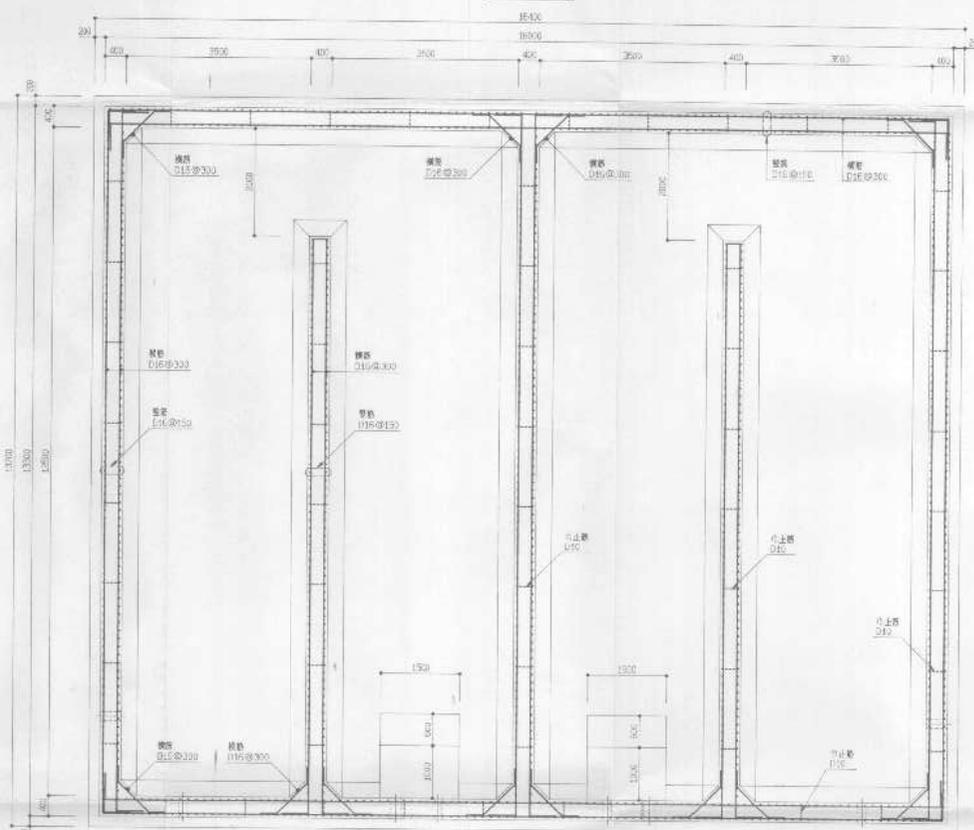
減圧弁	
形 式	リレー式減圧弁
口 径	φ150mm
減 圧 係	4.5 kg/cm ²
ピ ッ ト	RC造
寸 法	2.50m x 1.40m x H=1.50m

図面番号	3	縮 尺	NO SCALE
工 種	高宮町雨水下水道事業		
種 別	水位高低関連図		
工事箇所	高宮町 高宮町		
高宮町 住 民 課			

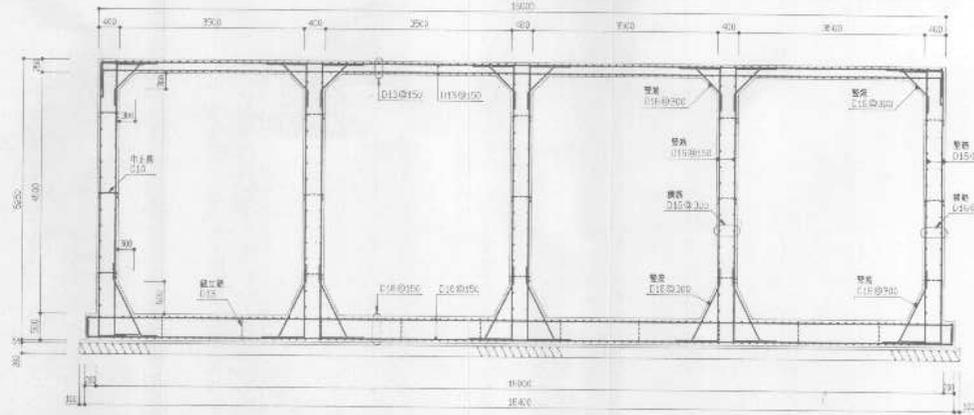
底板配筋图



壁配筋图



A-A断面图



B-B断面图

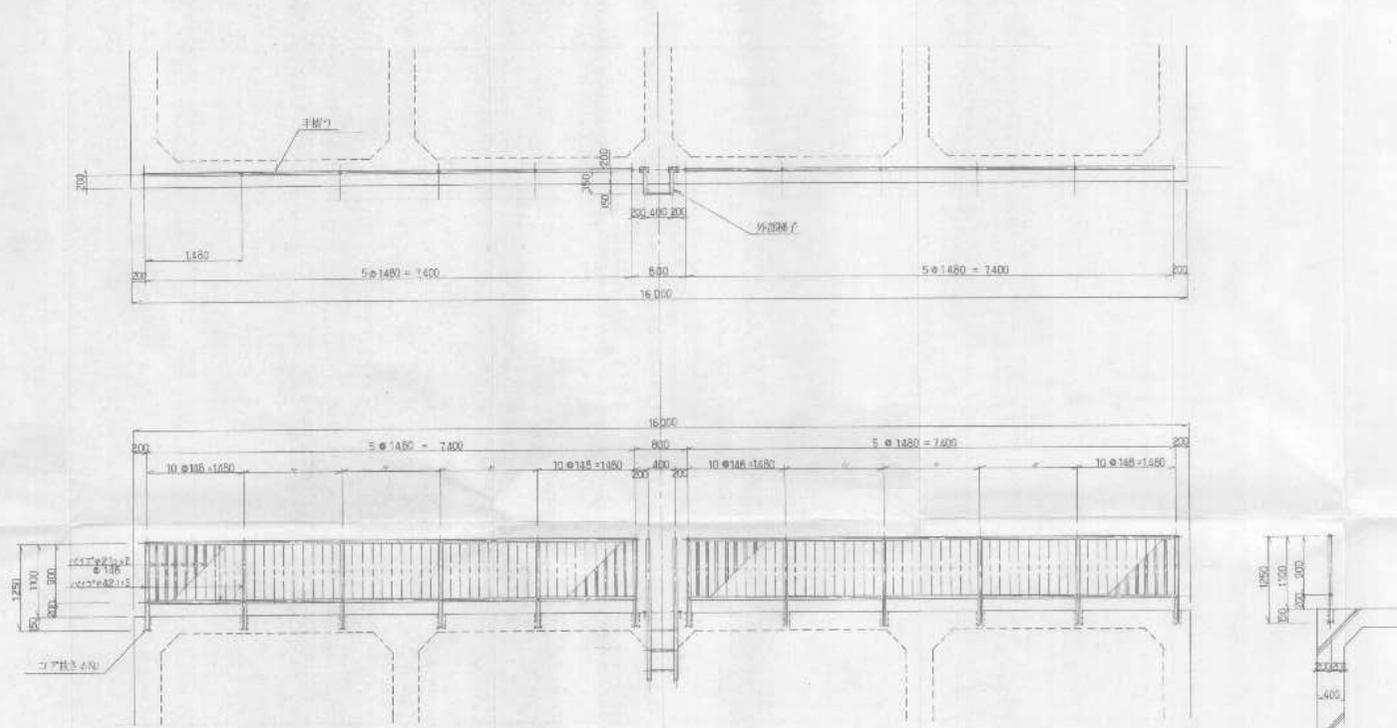
图面番号	13	縮尺	1/50, 1/20
工種	福岡市簡易水道事業		
種別	配水池配筋図		
工事箇所	筑後郡福岡町		
福岡町住民課			

配水池手摺り詳細図

1:40

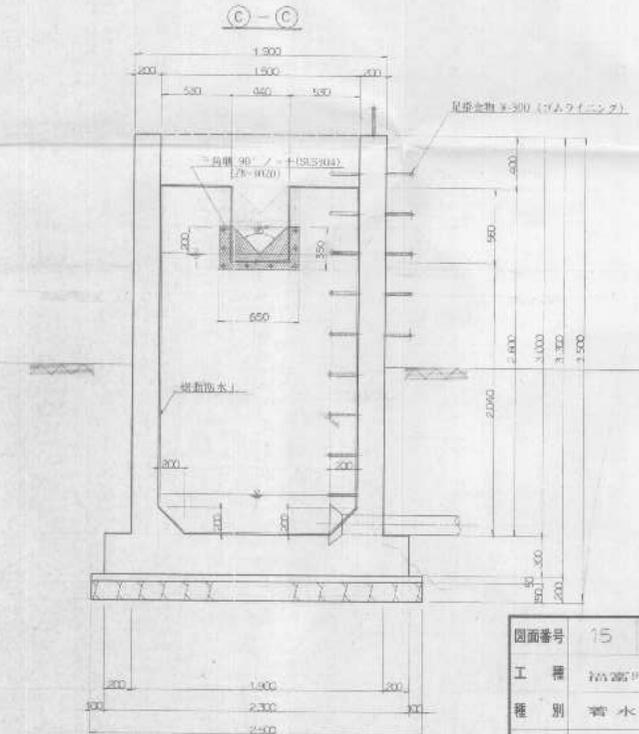
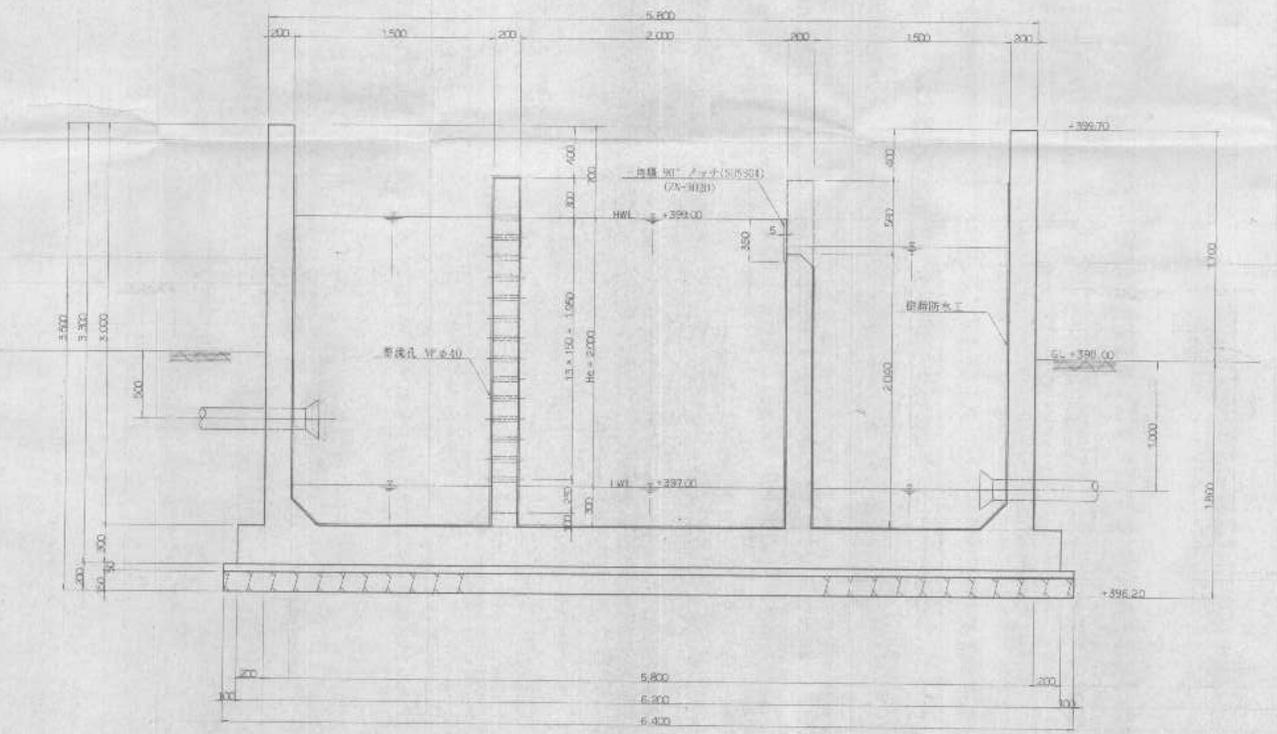
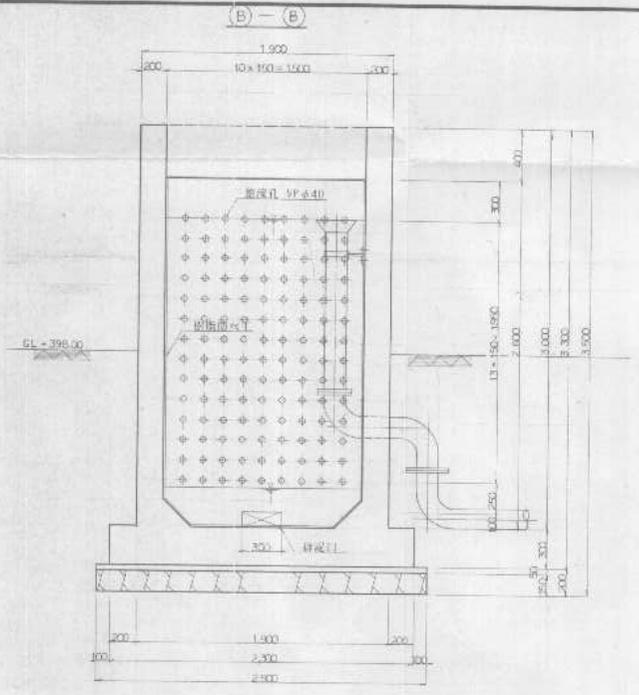
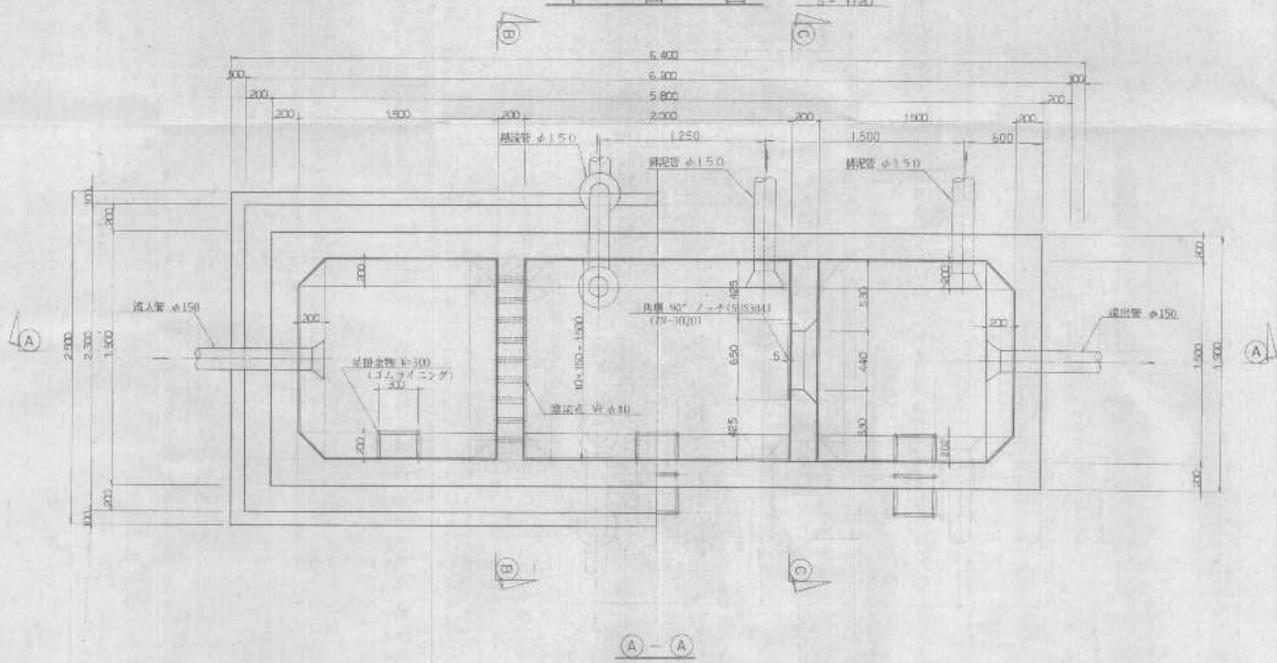
SUS304 鋼

1/4



図面番号	22	種別	1:40
工種	福岡県簡易水道事業		
種別	西尾水池手摺り詳細図		
工事箇所	筑後郡福岡町		
	福岡町		

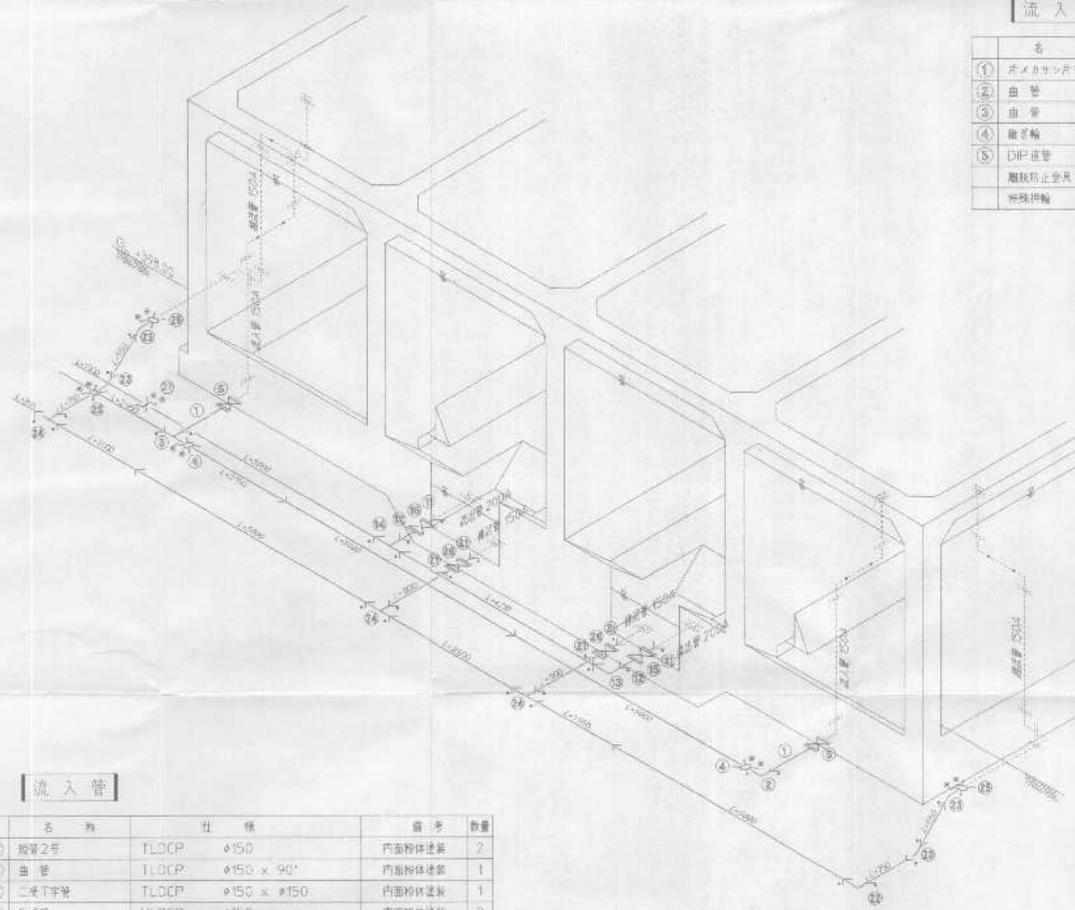
平面図 $\frac{1}{20}$



図面番号	15	縮尺	1/20
工番	福岡市南区水務事務所		
種別	雨水井構造図		
工事箇所	武蔵郡福岡町		
株式会社水産土木設計事務所			

配水池 配管スケルトン図

着水井 配管スケルトン図



流入管

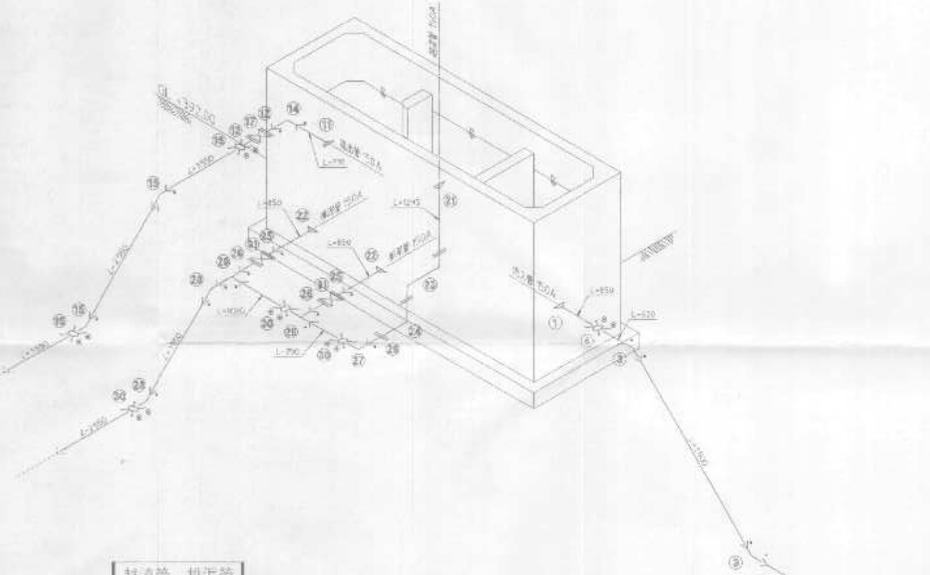
番号	名称	仕様	備考	数量
①	片メカサン片ラップ	NCP	φ150 × 850	1
②	曲管	TLDCP	φ150 × 90°	内面粉体塗装 1
③	曲管	TLDCP	φ150 × 45°	内面粉体塗装 2
④	継ぎ輪	MLDCP	φ150	内面粉体塗装 2
⑤	DIP直管	T形(3種)	φ150 × 5,000	モルタルライニング 2
	配管防止金具	T形	φ150	5
	特殊押輪	φ150		4

流出管

番号	名称	仕様	備考	数量
⑪	片メカサン片ラップ	NCP	φ150 × 710	1
⑫	短管1号	TLDCP	φ150	内面粉体塗装 1
⑬	短管2号	TLDCP	φ150	内面粉体塗装 1
⑭	曲管	TLDCP	φ150 × 90°	内面粉体塗装 1
⑮	曲管	TLDCP	φ150 × 45°	内面粉体塗装 2
⑯	継ぎ輪	MLDCP	φ150	内面粉体塗装 2
⑰	ソフトセル仕切弁	φ150 (2種)	仕切弁ボックス H=1000	1
	DIP直管	T形(3種)	φ150 × 5,000	モルタルライニング 1
	配管防止金具	T形	φ150	5
	特殊押輪	φ150		4

流入管

番号	名称	仕様	備考	数量
①	短管2号	TLDCP	φ150	内面粉体塗装 2
②	曲管	TLDCP	φ150 × 90°	内面粉体塗装 1
③	二又T字管	TLDCP	φ150 × φ150	内面粉体塗装 1
④	継ぎ輪	MLDCP	φ150	内面粉体塗装 2
⑤	ソフトセル仕切弁	φ150 (2種)	仕切弁ボックス H=1000	2
	DIP直管	T形(3種)	φ150 × 5,000	モルタルライニング 4
	配管防止金具	T形	φ150	3
	特殊押輪	φ150		4



越流管・排泥管

番号	名称	仕様	備考	数量
⑱	片メカサンラップ	NCP	φ150 × 1,295	上水フランジ 1
⑲	片メカサン片ラップ	NCP	φ150 × 850	2
⑳	南FS字管	NCP	φ150 255×700×255	上水フランジ 1
㉑	南F曲管	NCP	φ150×90° 415 × 550	上水フランジ 1
㉒	短管1号	TLDCP	φ150	内面粉体塗装 2
㉓	短管2号	TLDCP	φ150	内面粉体塗装 3
㉔	曲管	TLDCP	φ150 × 90°	内面粉体塗装 1
㉕	曲管	TLDCP	φ150 × 45°	内面粉体塗装 2
㉖	二又T字管	TLDCP	φ150 × φ150	内面粉体塗装 2
㉗	継ぎ輪	MLDCP	φ150	内面粉体塗装 3
㉘	ソフトセル仕切弁	φ150 (2種)	仕切弁ボックス H=1200	2
	DIP直管	T形(3種)	φ150 × 5,000	モルタルライニング 11
	配管防止金具	T形	φ150	21
	特殊押輪	φ150		6

越流管・排泥管

番号	名称	仕様	備考	数量
⑳	短管1号	TLDCP	φ150	内面粉体塗装 4
㉑	曲管	TLDCP	φ150 × 90°	内面粉体塗装 1
㉒	曲管	TLDCP	φ150 × 45°	内面粉体塗装 4
㉓	二又T字管	TLDCP	φ150 × φ150	内面粉体塗装 3
㉔	継ぎ輪	MLDCP	φ150	内面粉体塗装 3
㉕	ソフトセル仕切弁	φ150 (2種)	仕切弁ボックス H=1600	2
	DIP直管	T形(3種)	φ150 × 5,000	モルタルライニング 11
	配管防止金具	T形	φ150	21
	特殊押輪	φ150		6

流出管

番号	名称	仕様	備考	数量
⑪	短管1号	TLDCP	φ200	内面粉体塗装 2
⑫	短管2号	TLDCP	φ200	内面粉体塗装 2
⑬	曲管	TLDCP	φ200 × 90°	内面粉体塗装 1
⑭	二又T字管	TLDCP	φ200 × φ200	内面粉体塗装 1
⑮	ソフトセル仕切弁	φ200 (2種)	仕切弁ボックス H=1400	2
	DIP直管	T形(3種)	φ200 × 5,000	モルタルライニング 6
	配管防止金具	T形	φ200	3
⑯	継ぎ輪	MLDCP	φ200	1
	特殊押輪	φ200		2

図面番号	17	縮尺	—
工種	福岡市簡易水道事業		
種別	着水井・排水管 廻り曲がり管		
工事箇所	豊後郡福富町		
	福富町		

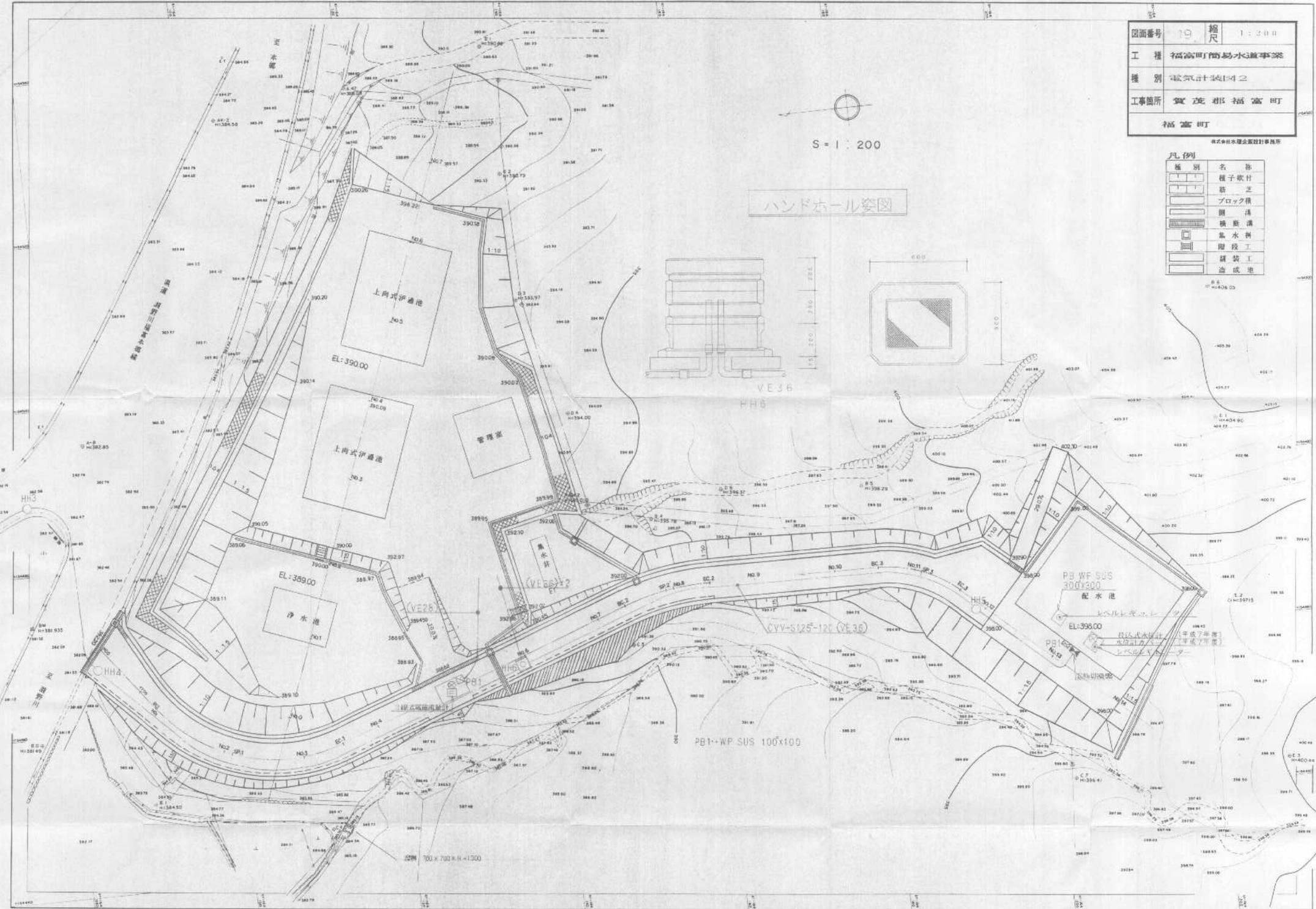
図面番号	19	縮尺	1:300
工種	福島県簡易水道事業		
種別	電気計画図		
工事箇所	賀茂郡福島町		
福島町			

株式会社水環企業設計事務所

S = 1 : 200

ハンドホール姿図

凡例	
種別	名称
[Symbol]	種子吹付
[Symbol]	筋芝
[Symbol]	ブロック積
[Symbol]	溝溝
[Symbol]	横断溝
[Symbol]	集水井
[Symbol]	階段工
[Symbol]	舗装工
[Symbol]	造成地



配水池
PB WF SUS 300x300
EL:398.00
レベリング
株式会社水環設計事務所
平成7年度
「環境7年度」
「水環境7年度」
「下水道7年度」

PB1-WP SUS 100x100

CVV-S125-12C (VE36)

VE36
HH6

上向式浄水池
203

上向式浄水池
202

浄水池
201

管理室

集水井
VE36-12

福島県簡易水道事業

HH3

HH3

HH4

HH5

HH6

HH7

HH8

HH9

HH10

HH11

HH12

HH13

HH14

HH15

HH16

HH17

HH18

HH19

HH20

HH21

HH22

HH23

HH24

HH25

HH26

HH27

HH28

HH29

HH30

HH31

HH32

HH33

HH34

HH35

HH36

HH37

HH38

HH39

HH40

HH41

HH42

HH43

HH44

HH45

HH46

HH47

HH48

HH49

HH50

HH51

HH52

HH53

HH54

HH55

HH56

HH57

HH58

HH59

HH60

HH61

HH62

HH63

HH64

HH65

HH66

HH67

HH68

HH69

HH70

HH71

HH72

HH73

HH74

HH75

HH76

HH77

HH78

HH79

HH80

HH81

HH82

HH83

HH84

HH85

HH86

HH87

HH88

HH89

HH90

HH91

HH92

HH93

HH94

HH95

HH96

HH97

HH98

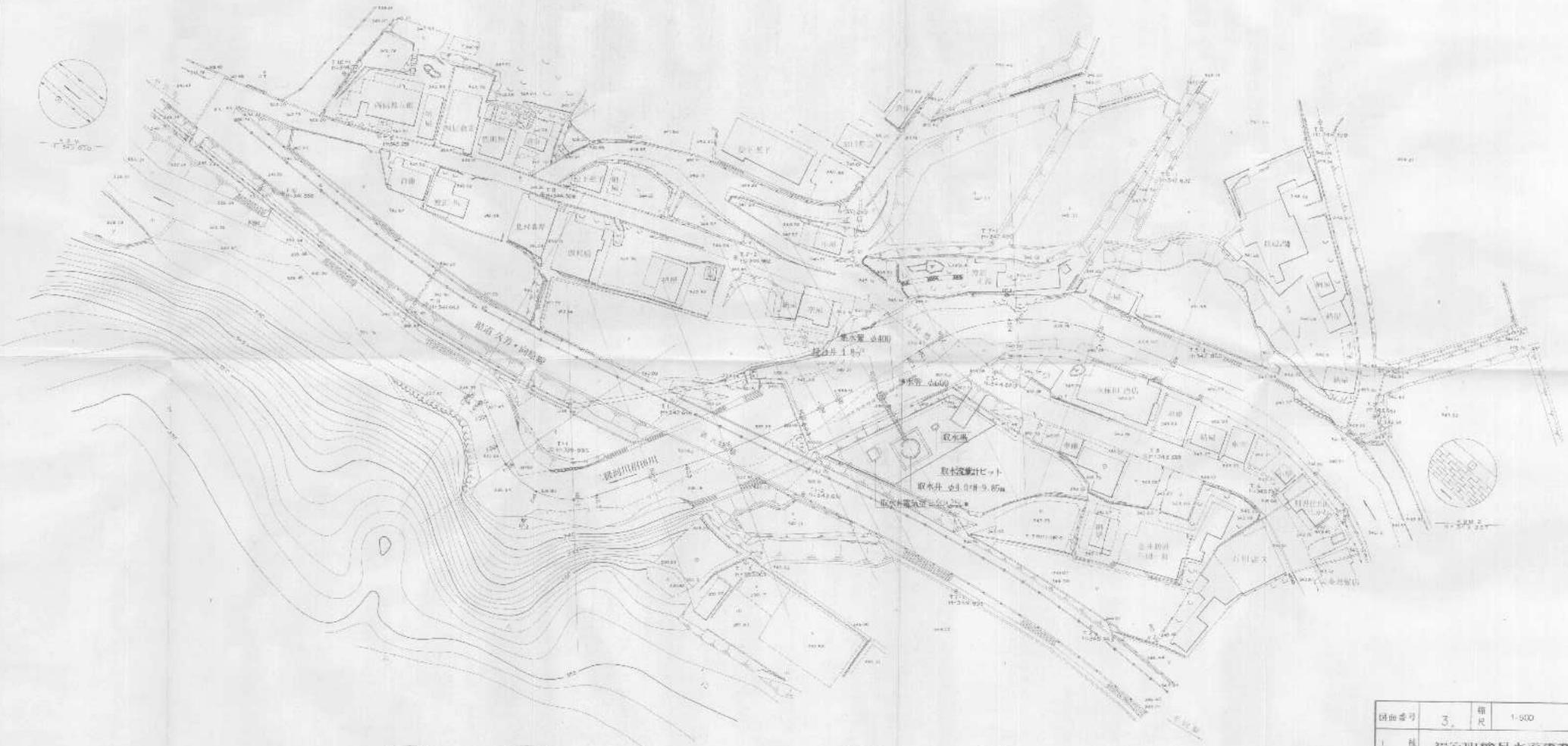
HH99

HH100

図面番号	縮尺	S = 1:500
工種	水道事業に伴う河川測量	
種別	平面図	
測量川名	二級河川 湯田川	
工事箇所	岩波郡福富町大字下巻上	
福 富 町		

取水場位置図

S = 1:500



IP.1
IA = 59.3543
R = 10.00
CL = 5.52
SL = 3.81
SL = 0.83

IP.2
IA = 59.3543
R = 20.00
CL = 30.91
SL = 19.95
SL = 1.92

IP.3
IA = 60.1570
R = 20.00
CL = 11.27
SL = 30.84
SL = 1.82

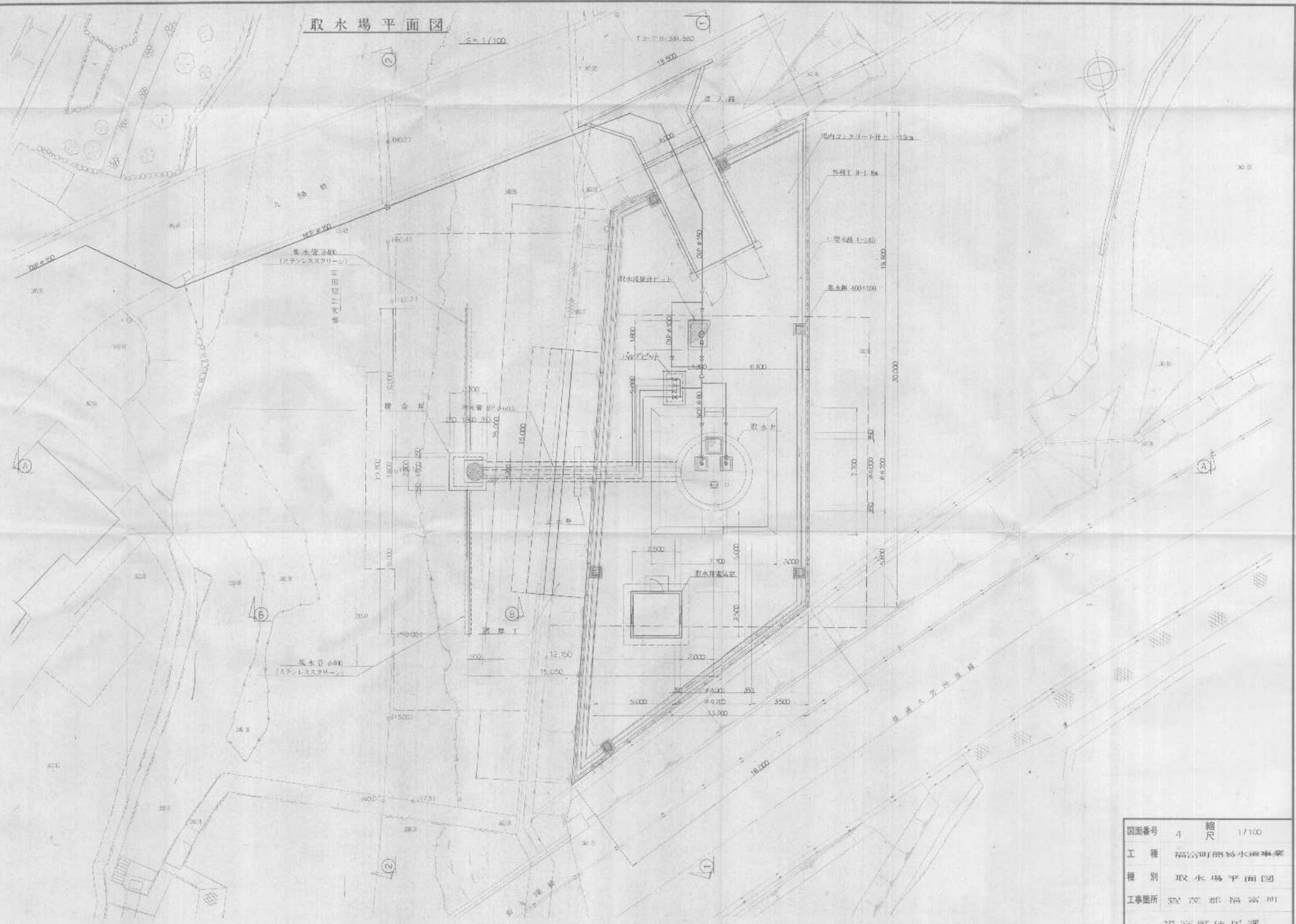
IP.4
IA = 54.9177
R = 30.00
CL = 27.86
SL = 25.94
SL = 8.33

図面番号	3	縮尺	1:500
工種	福富町湯田川水道事業		
種別	取水場位置図		
工事箇所	岩波郡福富町		
福富町住民課			

取水場平面図

縮尺 1/100

工事種別 340,560

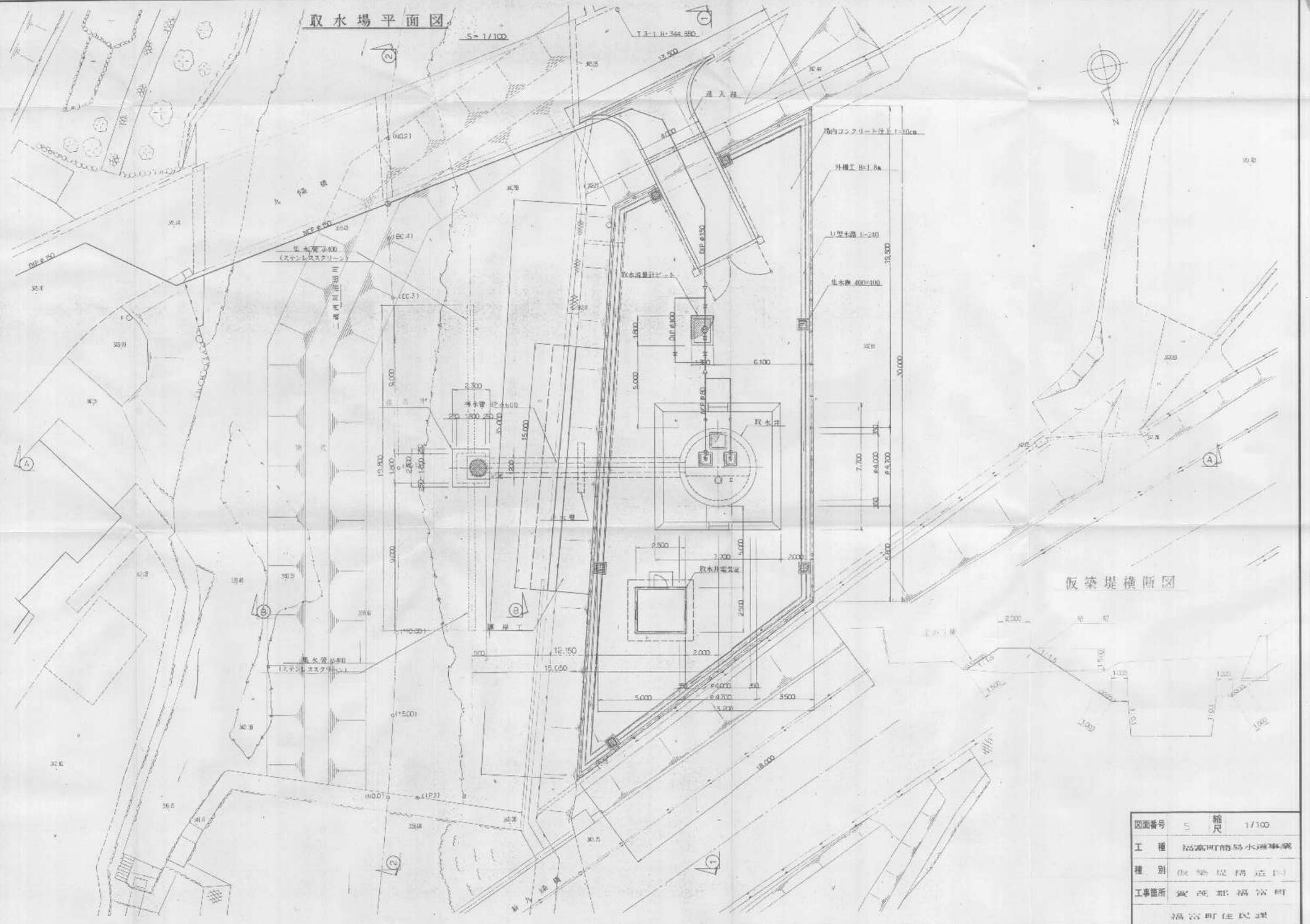


図面番号	4	縮尺	1/100
工種	福岡市簡易水道事業		
種別	取水場平面図		
工事箇所	福岡県福岡市		
	福岡市住民課		

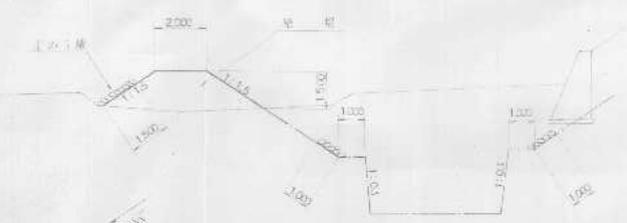
取水場平面図

S-1/100

T-1 H-344 250



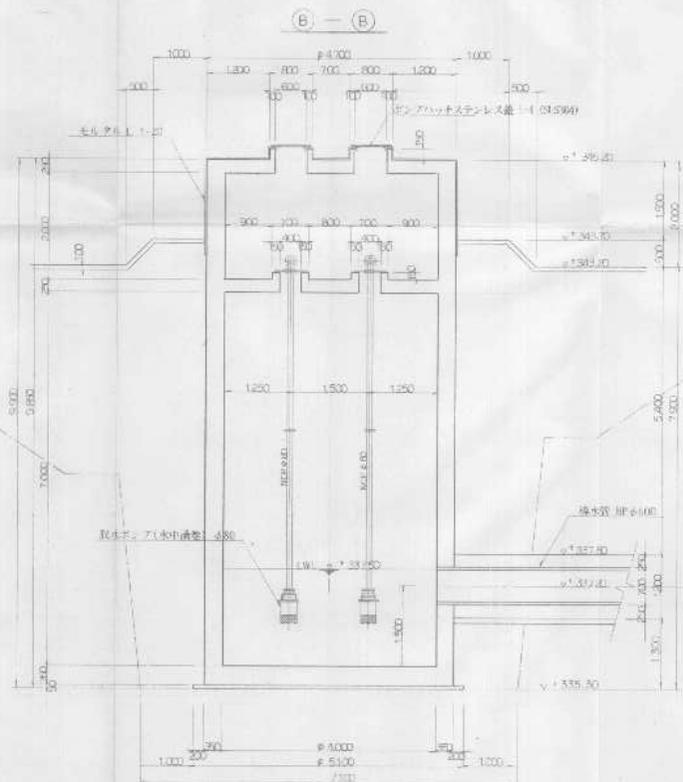
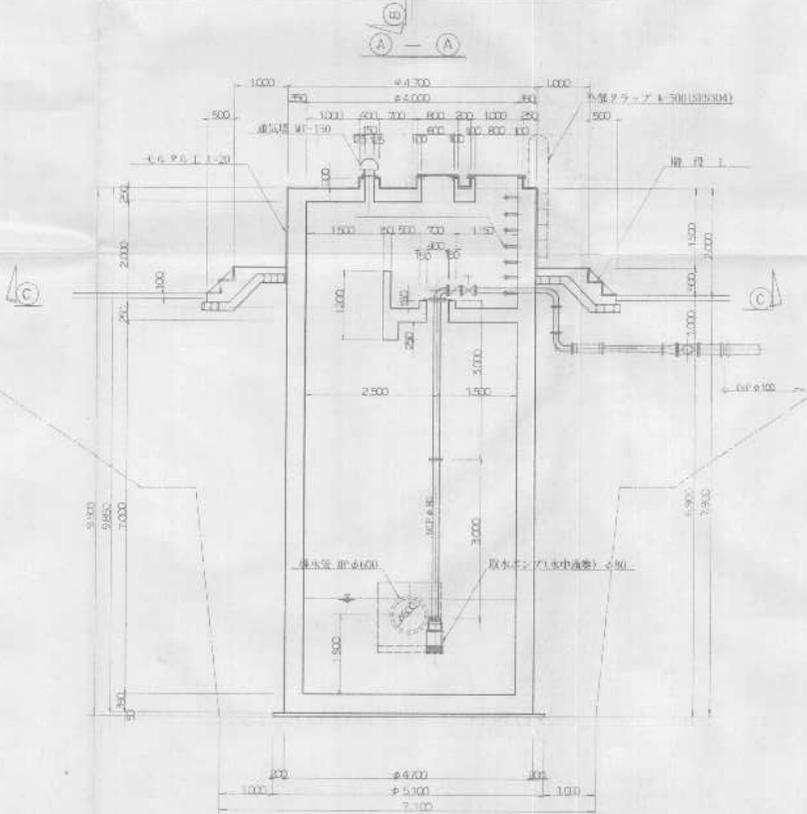
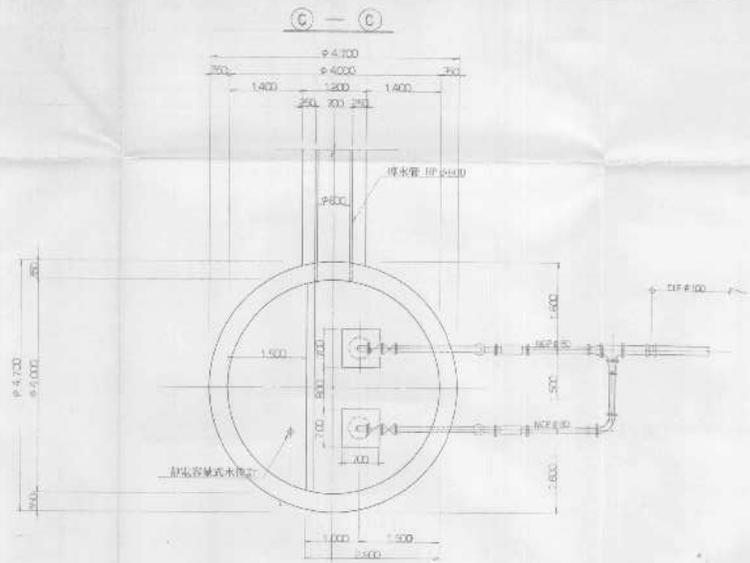
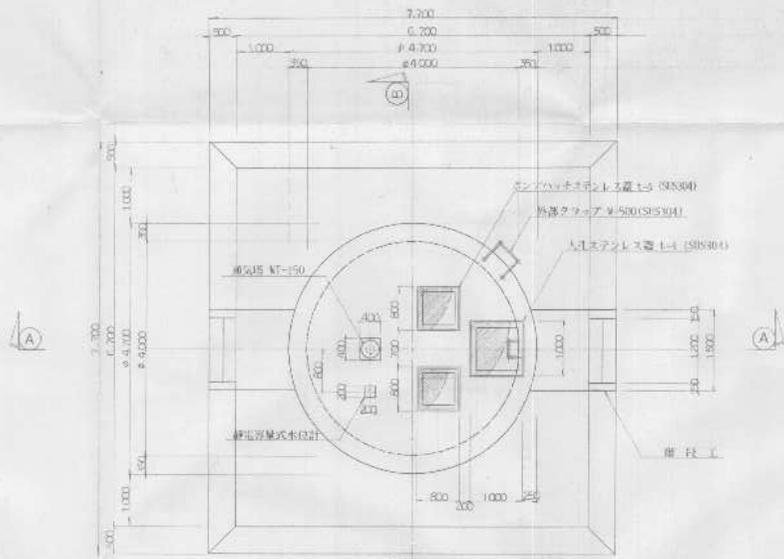
仮築堤横断面図



図面番号	S	縮尺	1/100
工種	福岡市簡易水務事業		
種別	仮築堤構造図		
工事箇所	筑後郡福岡町		
福岡町住民課			

平面図

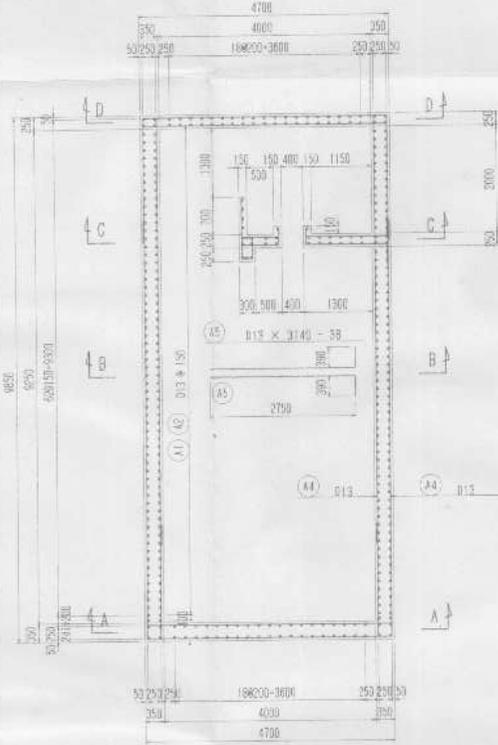
1/50



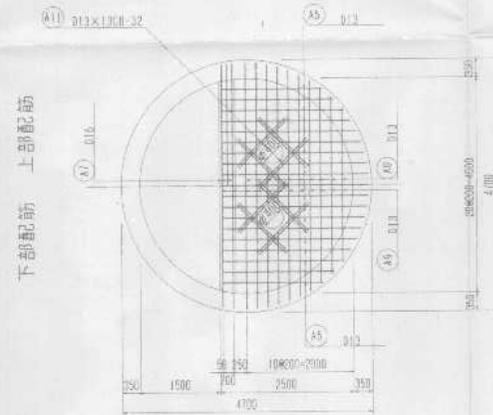
図面番号	10	縮尺	1/50
工種	福岡市簡易水道事業		
種別	取水井構造図		
工事箇所	福岡市 福岡区 福岡		

取水井配筋図 2-1/30

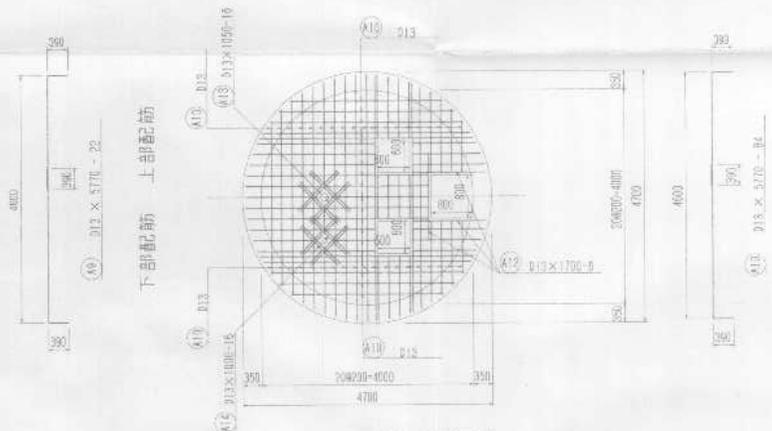
断面図



C-C断面図



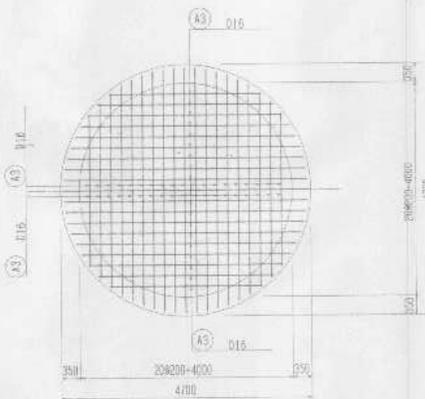
D-D断面図



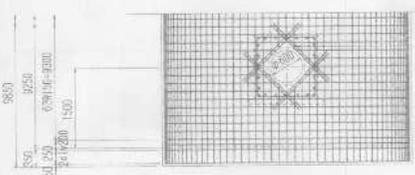
B-B断面図



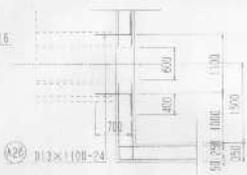
A-A断面図



正面図

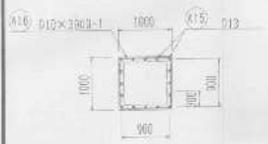


導水管開口部

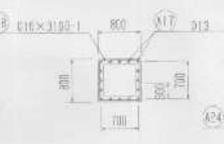


断面図

人孔開口部



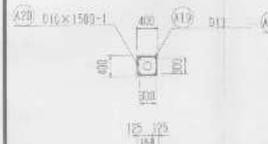
ポンプ開口部



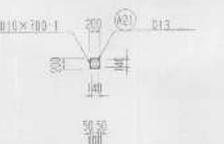
取水管開口部



通気管開口部



水位計開口部

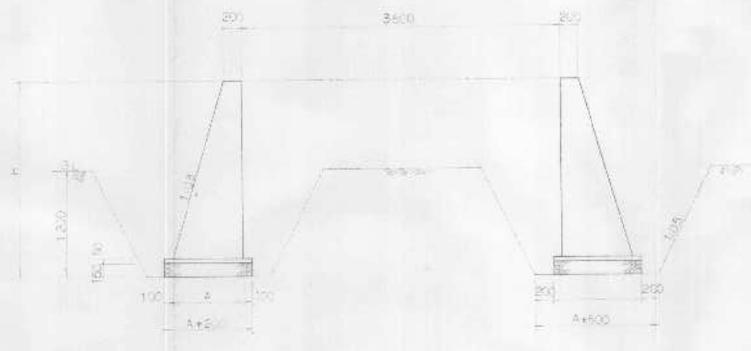


鉄筋重量表

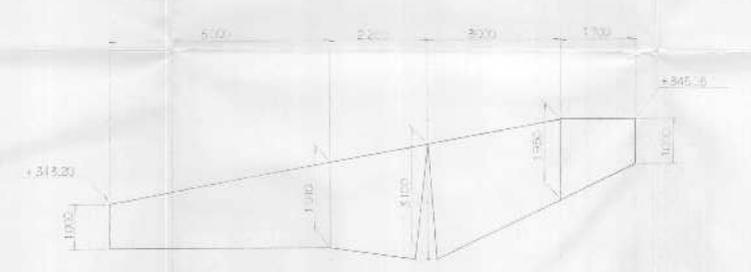
品番	径	長さ	本数	単位重量	本数×単位重量	重量	形状
1	φ13	13750	66	0.995	13,967	932.9	○
2	"	15450	66	"	15,074	994.9	○
3	φ16	6940	70	1.96	9,422	118.1	□
4	φ13	16340	136	0.995	10,338	2615.4	□
5	"	3440	36	"	3,124	118.7	□
6	"	1740	15	"	1,234	23.4	□
7	φ18	4550	6	1.58	7,098	42.6	□
8	φ10	1400	19	0.560	6,184	14.9	□
9	φ13	5770	22	0.995	5,741	126.3	□
10	"	5770	64	"	5,741	482.2	□
11	"	1300	32	"	1,234	41.4	□
12	"	1700	6	"	1,692	10.2	□
13	"	1850	16	"	1,645	10.7	□
14	"	1680	16	"	0,995	15.8	□
15	"	740	16	"	0,136	11.5	□
16	φ12	3960	1	0.560	2,184	2.2	□
17	φ13	740	16	0.995	0,735	11.8	□
18	φ10	9100	1	0.560	1,136	1.7	□
19	φ15	740	4	0.995	3,736	2.9	□
20	φ10	5900	1	0.560	2,840	0.8	□
21	φ13	740	4	0.995	0,735	2.9	□
22	φ10	730	1	0.560	0,362	2.4	□
23	φ13	690	8	0.995	6,967	5.5	□
24	φ10	1950	1	0.560	1,090	1.7	□
25	φ13	1500	16	0.995	1,493	25.9	□
26	"	1100	24	"	1,095	26.3	□
27	"	4550	4	"	4,577	13.1	□
合計						5632.0 kg	
						756.1 kg	
						4852.7 kg	
						24.1 kg	
						5632.0 kg	

図面番号	1-1	縮尺	1/30
工種	福岡市簡易水道事業		
種別	取水井配筋図		
工事箇所	筑波郡福岡町		
	福岡市土木課		

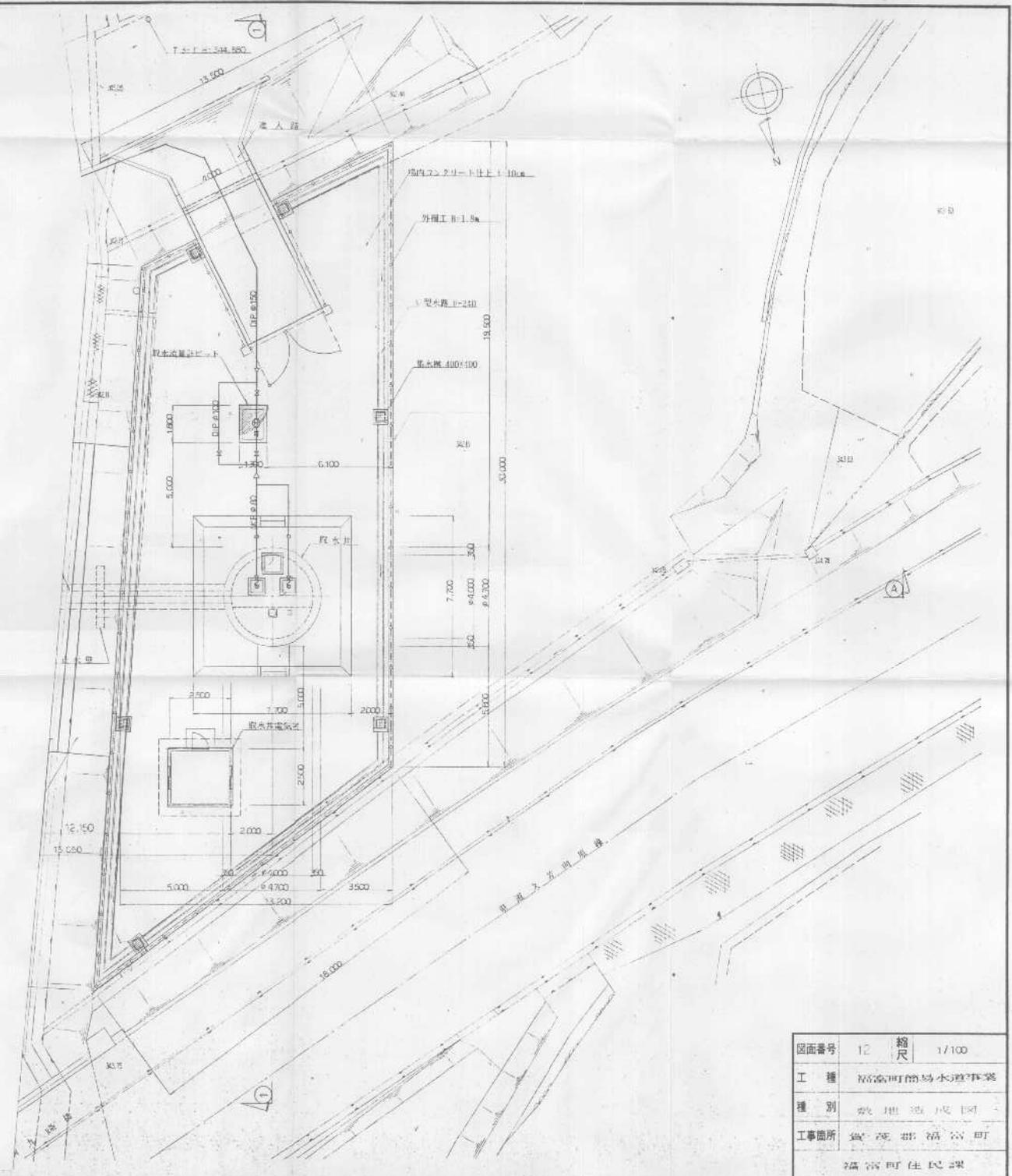
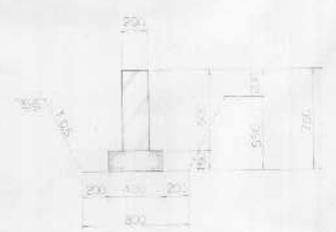
進入口標準断面図 1/30



進入口標準断面図 1/60



縦溝標準断面図 1/30



図面番号	12	縮尺	1/100
工種	福岡市簡易水道事業		
種別	敷地造成図		
工事箇所	筑後郡福岡町		
福岡町住民課			

参 考 図 書

業務名称 : 令和7年度 施設更新（耐震化）事業
下竹仁配水池ほか耐震診断・補強設計業務（その2）

<注意事項>

- 1 この数量書及び設計書情報は、適正な積算のための参考指標として数量及び適用年月日等を示すものです。数量及び適用年月日等は、参考であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 46 東広島市(福富) 00-08.01.01(0) 2 委託	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
発注区分 消費税率(%)	当世代 41 建設コンサル 10	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
地質調査業務費					X2000
一般調査					Y1999 レベル1
直接調査費	1	式			Y2999 レベル2
地質調査	1	式			Y3999 レベル3
土質ボーリング(オールコアボーリング) 孔径 6.6mm 礫混じり土砂	28	m			Y4999 レベル4
土質ボーリング(オールコアボーリング) 孔径 6.6mm 礫混じり土砂	28	m			SSE001 00 単第0 -0001 表
岩盤ボーリング(オールコアボーリング) 孔径 6.6mm 軟岩	12	m			Y4999 レベル4
岩盤ボーリング(オールコアボーリング) 孔径 6.6mm 軟岩	12	m			SSE003 00 単第0 -0002 表
標準貫入試験 礫混じり土砂	28	回			Y4999 レベル4

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標準貫入試験 礫混じり土砂	28	回			SSE007 00 単第0 -0003 表
標準貫入試験 軟岩	12	回			Y4999 レベル4
標準貫入試験 軟岩	12	回			SSE007 00 単第0 -0004 表
解析等調査業務（地質調査）	1	式			Y3999 レベル3
資料整理とりまとめ（地質調査）	1	業務			Y2B01011401 レベル4
資料整理とりまとめ(直接人件費)直接調査費	1	業務			VSE052 00 単第0 -0005 表
断面図等の作成（地質調査）	1	業務			Y2B01011401 レベル4
断面図等の作成（直接人件費）直接調査費	1	業務			VSE054 00 単第0 -0006 表
劣化調査	1	式			Y3999 レベル3

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
劣化目視調査					Y4999 レベル4
	1	式			
劣化目視調査(下竹仁配水池)					F2011 00
	1	式			
劣化目視調査(下竹仁取水場 取水井) 潜水土による劣化目視調査含む					V2021 00
	1	式			単第0 -0007 表
劣化目視調査(下竹仁浄水場 着水井)					F2012 00
	1	式			
鉄筋位置確認 電磁レーダー法					Y4999 レベル4
	4	回			
鉄筋位置確認 電磁レーダー法					F2001 00
	4	回			
コア採取 100×200 補修費・処分費を含む					Y4999 レベル4
	4	本			
コア採取 100×200 補修費・処分費を含む					F2002 00
	4	本			
圧縮強度試験 JIS A 1107					Y4999 レベル4
	4	検体			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
圧縮強度試験 JIS A 1107	4	検体			F2003 00
はつり調査 鉄筋腐食度・被り深さ 補修費・処分費を含む	4	箇所			Y4999 レベル4
はつり調査 鉄筋腐食度・被り深さ 補修費・処分費を含む	4	箇所			F2004 00
中性化試験 JIS A 1152	4	検体			Y4999 レベル4
中性化試験 JIS A 1152	4	検体			F2005 00
解析等調査業務（劣化調査）	1	式			Y3999 レベル3
資料整理とりまとめ（直接調査費分） 劣化調査	1	式			Y4999 レベル4
資料整理とりまとめ（直接調査費分） 劣化調査	1	式			F2008 00
調査図等の作成（直接調査費分） 劣化調査	1	式			Y4999 レベル4

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
調査図等の作成（直接調査費分） 劣化調査					F2009 00
直接経費	1	式			YZZ010901 レベル3
国土情報データベース検定費 R C C M（地質部門又は土質及び基礎部門） 指定責任者以外	1	式			Y4999 レベル4
諸経費対象外（調査）	1	式			#0044
国土情報データベース検定費 R C C M（地質部門又は土質及び基礎部門） 指定責任者以外	1	式			S2B01011501 00 単第0 -0008 表
** 直接調査費 **					
間接調査費					Z0001
運搬費	1	式			YZZ0101 レベル2
運搬費	1	式			YZZ010101 レベル3

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費	1	式			YZZ01010101 レベル4
資機材運搬	2	日			SE301 00 単第0 -0009 表
機材(潜水調査) 送気設備・潜水具・撮影機器 計測機器・消毒衛生機器	1	式			F2010 00 運搬,設置費込み
準備費	1	式			YZZ0102 レベル2
準備費	1	式			YZZ010201 レベル3
準備及び跡片付け	1	式			YZZ01020101 レベル4
準備及び跡片付け	1	業務			SSE039 00 単第0 -0010 表
調査孔閉塞	4	箇所			YZZ01020101 レベル4
調査孔閉塞	4	箇所			SSE045 00 単第0 -0011 表

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設費					YZZ0103 レベル2
	1	式			
足場設備					YZZ010301 レベル3
	1	式			
平坦足場					YZZ01030101 レベル4
	4	箇所			
平坦足場 板材足場(高さ0.3m以下) Br深度50m以下					SSE031 00
	4	箇所			単第0 -0012 表
移動足場 幅1.5m 高さ2.0m以下 1段					Y4999 レベル4
	1	式			
移動足場 幅1.5m 高さ2.0m以下 1段					F1002 00
	1	式			
旅費交通費					YZZ0106 レベル2
	1	式			
旅費交通費					YZZ010601 レベル3
	1	式			
旅費交通費					YZZ01060101 レベル4
	1	式			

地質調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
旅費交通費(調査)					S2Z0106X2 00
	1	式			単第0 -0013 表
施工管理費					YZZ0107 レベル2
	1	式			
施工管理費					YZZ010701 レベル3
	1	式			
施工管理費					YZZ01070101レベル4
	1	式			
施工管理費(調査)					S2Z0107X2 00
	1	式			単第0 -0014 表
純調査費					
諸経費					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
業務価格					
消費税等相当額					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐震診断・補強設計業務費					X3000
設計業務【共通】					Y2C01 レベル1
直接人件費	1	式			Y2C0201 レベル2
設計協議【共通】	1	式			Y2C020101 レベル3
第1回打合せ	1	式			Y4999 レベル4
第1回打合せ	1	回			V1001 00
中間打合せ	1	回			単第0 -0015 表 Y4999 レベル4
中間打合せ	3	回			V1002 00
最終打合せ	3	回			単第0 -0016 表 Y4999 レベル4
	1	回			

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
最終打合せ	1	回			V1003 00 単第0 -0017 表
設計業務【下竹仁配水池】	1	式			Y1999 レベル1
直接人件費	1	式			Y2999 レベル2
現地調査【下竹仁配水池】	1	式			Y2C020202 レベル3
現地調査	1	式			Y4999 レベル4
現地調査	1	式			V1004 00 単第0 -0018 表
既存資料調査【下竹仁配水池】	1	式			Y2C020101 レベル3
既存資料収集・整理 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
既存資料収集・整理 RC配水池 V=700m3	1	式			V1005 00 単第0 -0019 表

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
診断条件整理【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			Y3999 レベル3
地盤検討 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
地盤検討 RC配水池 V=700m3	1	式			V1006 00 単第0 -0020 表
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC配水池 V=700m3	1	式			V1007 00 単第0 -0021 表
耐震診断評価【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			Y3999 レベル3
解析モデル作成 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
解析モデル作成 RC配水池 V=700m3	1	式			V1008 00 単第0 -0022 表
耐震診断 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐震診断 RC配水池 V=700m3	1	式			V1009 00 単第0 -0023 表
耐震性能の照査 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
耐震性能の照査 RC配水池 V=700m3	1	式			V1010 00 単第0 -0024 表
総合評価 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
総合評価 RC配水池 V=700m3	1	式			V1011 00 単第0 -0025 表
対策案の検討【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			Y3999 レベル3
補強対策検討 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
補強対策検討 RC配水池 V=700m3	1	式			V1012 00 単第0 -0026 表
劣化対策検討 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
劣化対策検討 RC配水池 V=700m3	1	式			V1013 00 単第0 -0027 表
対策後の構造解析 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
対策後の構造解析 RC配水池 V=700m3	1	式			V1014 00 単第0 -0028 表
施工検討 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
施工検討 RC配水池 V=700m3	1	式			V1015 00 単第0 -0029 表
対策案の概算工事費作成 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
対策案の概算工事費作成 RC配水池 V=700m3	1	式			V1016 00 単第0 -0030 表
補強図・補修図の作成 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
補強図・補修図の作成 RC配水池 V=700m3	1	式			V1022 00 単第0 -0031 表

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
報告書作成【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			Y3999 レベル3
報告書作成 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
報告書作成 RC配水池 V=700m3	1	式			V1017 00 単第0 -0032 表
実施詳細設計【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			Y3999 レベル3
設計図作成 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
設計図作成 RC配水池 V=700m3	1	式			V1018 00 単第0 -0033 表
数量計算 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
数量計算 RC配水池 V=700m3	1	式			V1019 00 単第0 -0034 表
照査【下竹仁配水池】 RC配水池 V=700m3	1	式			Y3999 レベル3

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
照査 RC配水池 V=700m3	1	式			Y4999 レベル4
照査 RC配水池 V=700m3	1	式			V1020 00 単第0 -0035 表
設計業務【下竹仁取水場 取水井】	1	式			Y2C01 レベル1
直接人件費	1	式			Y2C0201 レベル2
現地調査【下竹仁取水場 取水井】	1	式			Y2C020202 レベル3
現地調査	1	式			Y4999 レベル4
現地調査	1	式			V1004 00 単第0 -0018 表
既存資料調査【下竹仁取水場 取水井】 RC取水井 V=90m3	1	式			Y2C020101 レベル3
既存資料収集・整理 RC取水井 V=90m3	1	式			Y4999 レベル4

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
既存資料収集・整理 RC取水井 V=90m3	1	式			V2005 00 単第0 -0036 表
診断条件整理【下竹仁取水場 取水井】 RC取水井 V=90m3	1	式			Y3999 レベル3
地盤検討 RC取水井 V=90m3	1	式			Y4999 レベル4
地盤検討 RC取水井 V=90m3	1	式			V2006 00 単第0 -0037 表
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC取水井 V=90m3	1	式			Y4999 レベル4
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC取水井 V=90m3	1	式			V2007 00 単第0 -0038 表
耐震診断評価【下竹仁取水場 取水井】 RC取水井 V=90m3	1	式			Y3999 レベル3
解析モデル作成 RC取水井 V=90m3	1	式			Y4999 レベル4
解析モデル作成 RC取水井 V=90m3	1	式			V2008 00 単第0 -0039 表

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐震診断 RC取水井 V=90m3	1	式			Y4999 レベル4
耐震診断 RC取水井 V=90m3	1	式			V2009 00 単第0 -0040 表
耐震性能の照査 RC取水井 V=90m3	1	式			Y4999 レベル4
耐震性能の照査 RC取水井 V=90m3	1	式			V2010 00 単第0 -0041 表
総合評価 RC取水井 V=90m3	1	式			Y4999 レベル4
総合評価 RC取水井 V=90m3	1	式			V2011 00 単第0 -0042 表
報告書作成【下竹仁取水場 取水井】 RC取水井 V=90m3	1	式			Y3999 レベル3
報告書作成 RC取水井 V=90m3	1	式			Y4999 レベル4
報告書作成 RC取水井 V=90m3	1	式			V2017 00 単第0 -0043 表

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
照査【下竹仁取水場 取水井】 RC取水井 V=90m3	1	式			Y3999 レベル3
照査 RC取水井 V=90m3	1	式			Y4999 レベル4
照査 RC取水井 V=90m3	1	式			V2020 00 単第0 -0044 表
設計業務【下竹仁浄水場 着水井】	1	式			Y2C01 レベル1
直接人件費	1	式			Y2C0201 レベル2
現地調査【下竹仁浄水場 着水井】	1	式			Y2C020202 レベル3
現地調査	1	式			Y4999 レベル4
現地調査	1	式			V1004 00 単第0 -0018 表
既存資料調査【下竹仁浄水場 着水井】 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y2C020101 レベル3

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
既存資料収集・整理 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y4999 レベル4
既存資料収集・整理 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			V3005 00 単第0 -0045 表
診断条件整理【下竹仁浄水場 着水井】 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y3999 レベル3
地盤検討 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y4999 レベル4
地盤検討 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			V3006 00 単第0 -0046 表
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y4999 レベル4
耐震基本方針及び設計地震動設定 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			V3007 00 単第0 -0047 表
耐震診断評価【下竹仁浄水場 着水井】 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y3999 レベル3
解析モデル作成 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y4999 レベル4

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
解析モデル作成 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			V3008 00 単第0 -0048 表
耐震診断 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y4999 レベル4
耐震診断 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			V3009 00 単第0 -0049 表
耐震性能の照査 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y4999 レベル4
耐震性能の照査 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			V3010 00 単第0 -0050 表
総合評価 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y4999 レベル4
総合評価 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			V3011 00 単第0 -0051 表
報告書作成【下竹仁浄水場 着水井】 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y3999 レベル3
報告書作成 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y4999 レベル4

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
報告書作成 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			V3017 00 単第0 -0052 表
照査【下竹仁浄水場 着水井】 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y3999 レベル3
照査 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			Y4999 レベル4
照査 RC着水井 1日最大給水量855m3/日	1	式			V3020 00 単第0 -0053 表
** 直接人件費 **					
直接経費					Z0001
旅費交通費	1	式			YZZ0101 レベル2
旅費交通費	1	式			YZZ010101 レベル3
旅費交通費	1	式			YZZ01010101 レベル4

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
旅費交通費（設計）					S2Z0101X3 00
電子成果品作成費	1	式			単第0 -0054 表
電子成果品作成費	1	式			YZZ0102 レベル2
電子成果品作成費	1	式			YZZ010201 レベル3
電子成果品作成費	1	式			YZZ01020101 レベル4
電子成果品作成費(設計) 概略設計，予備設計及び詳細設計	1	式			S2Z0102X3 00 *
** 直接原価 **					
その他原価 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 間接原価 **					
** 業務原価 **					

耐震診断・補強設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費等 計算情報..... 対象額..... 率.....					
業務価格					
消費税等相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
業務委託料					
業務価格計					
消費税相当額計 計算情報..... 対象額..... 率.....					
業務費計					

